

大谷禎之介著

図解 社会経済学

資本主義とはどのような社会システムか

| | | |
|--|-------------|--|
| | 事項索引 | |
|--|-------------|--|

(<http://www.sakurai-shoten.com/>)

凡 例

この索引は大谷禎之介著『図解社会経済学』（桜井書店，2001年）の事項索引です。事項索引ですが，人名も「人名」という項目に収めています。

項目採録の対象は「はじめに」，「目次」，「凡例」，「図表目次」および「あとがき」を除く本文です。

項目編成の原則は次のとおりです。ひとつお目を通しておいてくだされば，より有効にご利用いただけたらと思います。

- (1) 親項目と子項目の2段階だけで項目を編成する。
- (2) 親項目でも子項目でも項目の順序は50音順とするが，親項目「産業循環」の子項目として掲げる産業循環の諸局面だけは，それらの継起の順序に従って並べる。
- (3) 重要概念は大項目の親項目とし，そのもとに関連する子項目を配置する。子項目のなかでは，親項目名は「 」で示す。
- (4) 子項目自身が重要概念である場合には，この子項目は，別に立てた親項目を指示する「見よ項目」とし，「 」で参照を求める。
- (5) 子項目となっている項目でも，利用者が親項目として検索する可能性があるものは親項目としても立てる。
- (6) 経済学の理論に登場する概念と見なせるものはできるだけ網羅的に項目とするように努めるほか，方法論を含む社会科学一般にかかわる重要概念も収録する。
- (7) 必要に応じて，参照記号「 」によって，同義語，反意語，関連語などの項目相互間の関連づけを行なう。
- (8) 本文のいたるところにでてくる重要概念(たとえば「労働」，「費

用」，「商品」，「価値」，「貨幣」，「価格」，「資本」，等々)を親項目とするときには，その子項目にだけ該当ページを挙げる。

(9) かなり多くのページにでてくる語句でも，それらのページ番号のすべてを記載することに意味があると判断した場合には，必要に応じて，その意味内容を理解するのに重要な箇所のページ番号を太字で示す。

(10) 人名は「人名」という親項目のもとにまとめる。ただし，引用文献ないし言及文献の著者・编者・訳者の名はとらない。

この索引に誤りを発見したときには断わりなしにその都度訂正しますし，場合によっては，改善のために大きく手を加えることもありえます。大きな手入れを行なった場合には，この凡例の末尾に改訂の日付を記します。

本書および本索引に誤りを見つけられたり，ご意見や感想などをおもちでしたら，メールで著者（otani@asahi.email.ne.jp）にお伝えください。ただし，ご意見などに必ずお返事申し上げることができるわけではないことをご了承ください。

(2001年3月31日，第1版)

あ
アソシエーション 30, 35-36,
73-74, 153, 166, 182, 234,
234-242, 408
 的生産 234
 的生産関係 30
 論 236

い
生きた労働(現在の労働) 21, 148,
165, 189, 195-196, 256, 278,
298, 300, 329-330, 397-398
 死んだ労働(過去の労働)
意志 32, 36-39, 41, 73, 74, 79,
82, 141, 151, 159, 175, 199
 関係 79
意識 5, 6, 7, 11, 12, 14, 35,
36-39, 40, 41, 73, 77, 82, 113,
158, 161, 167, 171, 173, 180,
181, 183, 186, 187, 199, 233,
237, 238, 240, 241, 242, 260,
261, 300, 302, 306, 317, 325,
328, 408
存在と 37
社会的 , 36, 37, 40
一物一価の法則 156, 225, 310
一般的価値形態 70-71, 92-94
一般的等価物 70-71, 78, 83,
88-92, 98, 253, 347-349, 354,
378 等価物
 の機能を社会的に独占する
 商品としての貨幣 71, 347
一般流通 357, 367
命がけの飛躍 98
意欲 36, 39, 73, 220
インフレーション 113, 122-124

う
v + mのドグマ 276, 399
売り手 54, 56, 78, 96, 98, 99,
100, 102, 105, 106, 107, 114,
118, 119, 122, 123, 126, 128,
129, 132, 149, 150, 176, 188,
189, 305, 306, 309, 310, 313,
348, 356, 371, 402 買い手
労働力の 129, 149, 175,
334
運河 13, 159
運輸 164, 248, 254, 255, 256,
401
 費 256
 労働 255-256

え
エコノミクス 6, 8, 50, 54, 80
エンクロージャ 228

お
黄金崇拜 78, 354

か
外国為替論 112
価値尺度 92, 93, 95, 102, 103,
105, 378
外観 77, 78, 81, 167, 186, 187,
192, 208, 303, 304 観念;
虚偽; 転倒
 上の繁栄 344 産業循環
 としての商品の所有法則
 80
 虚偽の 303
資本主義社会の 的運動 409
転倒的な 409
外観上の繁栄 344 産業循環
階級 7, 27, 39, 49, 149, 152,
170, 171, 182, 193-196, 202,
205, 209, 210, 216, 218, 220,
221, 228, 229, 233, 240, 248,
281, 298, 326, 346, 352, 365,
377, 392, 393, 397, 402, 404-
407, 409
 関係 406, 409
 関係と生産関係 406-407
 関係と分配関係 405
社会 27
闘争 39, 406, 409

貨幣資本家 350, 354
機能資本家 350, 354
支配 39
資本家 7, 194, 281, 346,
377, 392, 405, 406
資本主義社会の基本的 関係
406
資本主義社会の諸 405
土地所有者 392, 405, 406,
409
分配関係と諸 405
労働者 49, 149, 194, 195,
196, 205, 405, 406
買い手 52, 54, 78, 96, 99, 100,
105, 106, 107, 118, 119, 126,
127, 128, 129, 130, 148, 149,
150, 176, 188, 229, 253, 305,
309, 310, 313, 334, 335, 336,
347, 348, 356, 372, 385, 390,
394 売り手
回転循環 261, 262
価格
 言い値 96, 114, 310
 売り値 54, 96, 310
 形態 72, 97
 の価値からの乖離 96
 の実現 価格の実現
 の質と量 95
 の度量単位 95
 の度量標準 92, 94, 95, 101,

105, 111, 124
 の度量標準の変更 124
 変動 82, 310, 317, 320,
 321, 366
 決まり値 96, 105, 114, 310
 市場 310-313, 316-
 318, 321, 323, 325, 339,
 382-383, 385, 387-389
 生産 生産価格
 付け値 96, 310
 費用 費用価格
 無価値の商品の価格 97
 価格の実現 100, 105-107, 111,
 115-117, 123, 300
 の観念的実現 106-107
 の現実的実現 106-107
 科学 3, 4, 6, 7, 18, 22, 36, 40,
 41-42, 50, 58, 59, 81, 160,
 165, 167, 172, 173, 179, 180,
 181, 182, 221, 233, 238, 240,
 241, 242, 403 認識; 方法;
 理論
 架空資本 370-373
 拡大再生産 再生産
 革命 38-39, 152, 153, 163, 164,
 167, 226, 228, 229, 241
 経済 38, 39
 社会 38
 政治 38, 39
 農業 226, 229
 掛売買 105, 106, 107, 356
 信用
 下向 下り道
 貸出 124, 366, 368, 369, 372
 貸付 129, 130, 348-352, 360,
 364, 365, 366, 367, 369, 372,
 377
 可能な貨幣資本 貸付可
 能な貨幣資本
 資本 資本
 と返済 348
 証書 366
 担保 366
 手形 366
 当座貸越 366
 無担保 366
 貸付可能な貨幣資本 351,
 364-369, 372, 377
 の需要と供給 351
 過剰 49, 169, 172, 210, 216,
 217, 218, 219, 220, 221, 291,
 334, 344, 351, 410
 人口 216-220, 334
 資本の 334
 商品の 334
 人口の 334 相対的過剰
 人口
 過剰人口 相対的過剰人口
 過剰生産 169, 172, 334, 344,
 351, 410 産業循環

資本の 334
 商品の 334
 家族 24, 171, 202
 数 212, 220
 費 132, 134, 168, 202
 労働者 成員 168
 価値
 移転 62-64, 139-140, 142,
 145, 276, 278, 300, 329-330,
 333, 400
 規定 56, 58, 156, 325
 鏡 68, 378
 形態 価値形態
 構成 資本構成
 生産物 139, 140, 276, 277,
 278 生産物価値
 体 68, 85, 86, 378
 尺度 価値尺度
 増殖 価値増殖
 としての実現 86, 89
 実現
 による総生産の規制 325
 の移転・保存 62, 63, 138,
 140, 164, 278
 の実現 156-157
 の実体 55, 390
 の生産価格への転化 生
 産価格
 の本質 48, 301
 表現 65-68, 71-72, 92-94
 価値形態
 法則 323-325, 381
 補填 272, 278
 量 57, 58, 63, 91, 96, 127,
 135, 139, 155, 165, 195, 262,
 263, 283, 284, 319, 320
 旧 62-64, 139-140, 142,
 145, 276, 278, 300, 329-330,
 333, 400
 欠損 156, 226, 311, 386,
 387, 390
 交換 53, 54, 64, 65, 91
 個別的 156-158, 165,
 311-314, 333, 385-390
 市場 308, 312-314, 321,
 333, 385-391
 新 62-64, 128, 139-140,
 142, 144, 154, 256, 276, 300,
 329-330, 397-401
 社会的 156, 157, 165, 311,
 312, 313, 390
 剰余 剰余価値
 日労働の 185, 187 労
 働力の日価値
 平均 311, 312, 313, 387,
 389, 390 市場価値
 価値鏡 68, 378 価値体; 等価
 物
 価値形態 64, 65, 66, 68, 69, 70,
 71, 72, 83, 88

一般的な 70-71, 83 394
 価値表現 65-68, 71-72, 92-94
 貨幣形態 71, 72, 90, 91, 98,
 102, 106, 118, 127, 138, 194,
 256, 258, 259, 262, 271, 278,
 281, 286, 288, 289, 304, 337,
 357, 380, 381
 全体的な 68-70, 83
 単純な 64-68, 83
 等価形態 67, 90
 等価物 等価物
 価値尺度
 としての貨幣の機能
 92-98, 102-103, 105, 378
 の質 93
 価値生産物 139, 140, 276, 277,
 278 生産物価値
 価値増殖 125, 135-139, 178,
 182, 218, 248, 249, 250, 253,
 301-302, 321, 324-325
 過程 125-140, 144, 178,
 182, 191, 192, 222, 244, 301
 の度合 140-141
 資本の回転が に及ぼす影響
 261-263
 価値体 68, 85, 86, 378 価値
 鏡；等価物
 活気の増大 351 産業循環
 過度の緊張状態 410 産業循環
 株式 98, 151, 366, 371, 379,

会社 214, 353, 354, 371,
 378, 379, 392, 394
 銀行 363
 市場 309
 制度 378
 資本 241, 371, 378, 379
 貨幣
 価値尺度 価値尺度
 形態 71, 72, 90, 91, 98,
 102, 106, 118, 127, 138, 194,
 256, 258, 259, 262, 271, 278,
 281, 286, 288, 289, 304, 337,
 357, 380, 381 価値形態
 材料の再生産 281, 282
 市場 308-309, 347-351,
 373, 376
 支払約束 105, 106, 107,
 356 債権と債務
 資本 貨幣資本
 資本(monied capital) 347,
 349, 355, 361, 372 貨幣資
 本
 資本家 350, 362, 365, 398
 信用 366, 367 信用
 商品 貨幣商品
 蓄蔵 102-103, 104, 120
 蓄蔵貨幣
 地代(金納地代) 33, 34,
 224 先資本主義的地代
 としての 111 349-350
 による人間支配 78, 183,
 354
 の運動形態 100
 の価値 92, 94
 の還流 271, 273, 275-276
 の形式的使用価値 106
 の機能 92-124, 378
 の人格化 34, 192 人格
 化
 の度量標準 95
 の本質 71-72, 378
 発生の必然性 83-92
 片の流通回数 116
 片の流通速度 116
 名 72, 92, 95, 101, 111,
 123
 流通 100, 106, 108, 119,
 125, 177, 253, 254, 270, 273,
 279, 288, 293
 の速度 116-117, 263, 377
 観念的な 93, 105
 購買手段 購買手段
 国際通貨 112, 411
 實在の(現実の) 93, 105
 支払手段 支払手段
 紙幣 国家(政府) 紙幣
 資本としての 125,
 348-351, 376
 資本としての の使用価値
 商業 109, 110, 357, 374
 将来の 106 債権と債務
 信用 110, 357, 373
 世界 世界貨幣
 蓄蔵 蓄蔵貨幣
 鋳貨 鋳貨
 鋳貨準備 118-119
 通貨 104-105, 114, 116-122,
 377, 411
 表象された 93
 秤量 101
 補助鋳貨 102
 本位 102, 121
 本来の 102, 103, 104, 106,
 111, 118, 121, 360, 365
 遊休 263, 279, 286, 288,
 346, 358, 359, 364, 365, 368,
 369, 374, 375, 376
 預金通貨 366, 368
 流通 流通貨幣
 流通手段 流通手段
 流通に必要な (金) の量 114,
 121-123
 貨幣資本
 貨幣取扱業者のもとにある遊休
 346, 358
 の集中と配分 355
 の循環 247, 248-249, 252
 (monied capital) 347,

349, 355, 361, 372
 銀行資本としての 362, 364
 銀行に集中している 355
 固定資本償却ファンドとしての
 遊休 279
 資本の循環形態としての
 245-246, 247, 248, 249, 252
 準備 337
 商業資本の循環形態としての
 341, 345
 蓄積ファンドとしての遊休
 286-288, 298
 追加 の必要 263, 273
 投下 入手の要求 358-359
 遊休 360, 365-366, 374-378
 遊休 の形成 263, 273
 流過程にある 337
 貨幣商品 91, 94, 95, 103-104, 111, 117
 の独自の価値表現 94
 貨幣地代(金納地代) 33, 34, 224
 先資本主義的地代
 貨幣取扱資本 344-346, 358-360, 363, 375, 401
 の運動形態 345
 の自立化 344-355
 の成立と発展 346

の利潤 345-346
 銀行制度の基礎としての
 361-362
 銀行資本がもつ としての性
 格 363
 貨幣流通 100, 106, 108, 119, 125, 177, 253, 254, 270, 273, 279, 288, 293
 の速度 116-117, 263, 377
 可変資本 138-140
 資本構成高度化による の相
 対的減少 211, 213-214, 327-328, 332
 資本集中にともなう の増減
 214-215
 資本蓄積にともなう の増減
 213-214
 資本の価値構成の部分としての
 210-211
 社会的再生産における 補填
 の独自性 270-271, 288-289
 蓄積のための追加
 201-203
 費用価格による の隠蔽
 301-303
 流動資本の一部としての
 260-261
 労働ファンドの資本主義的形態
 としての 194-196, 399, 400, 402

環境 9, 11, 16, 23, 52, 172-173, 240, 241
 破壊 9, 11
 破壊と生産力 23, 172-173
 地球的規模での 保護 241
 天然の自然 16
 監督 159, 160, 169, 178, 190, 353, 403
 賃金 353
 労働 353, 403
 指揮と 159-160
 観念 外観; 虚偽; 転倒
 的な貨幣 93, 105
 的な貨幣量 105
 的な金 95, 103
 的な金量 95
 虚偽の 305, 352
 経済的三位一体の 403
 混乱した 399
 常識的 50, 404
 転倒的な 160, 188, 189, 305, 306, 396, 404
 非科学的な 403
 法的 36, 190
 元本 ファンド

き

機械
 体系 164, 167, 168, 169
 価値の移転 165-166

使用の資本主義的制限 166
 使用の転倒的形態 167
 の三つの構成部分 163
 自動 体系 164
 中央自動装置 164
 同種 の協業 164
 企業 98, 354, 357, 371, 379, 381
 間信用 357
 企業者利得 352 企業利得
 企業利得 298, 352, 397-398, 403
 技術 59, 173
 科学の 的应用可能性 59
 貨幣取り扱いの 的操作 344, 358, 377
 環境を破壊する の発達 23
 的な意味での生産の仕方と
 しての生産方法 155
 的に決まらない社会的必要
 労働時間 58
 的に金量を固定する必要
 95
 的必然としての労働過程の
 協業的性格 167
 の発展段階 22
 金地金を鑄貨にする 的作業
 としての鑄造 101
 資本の 的構成 210-211, 329-330, 333 資本構成
 新 の一般化 332-333

新の採用 172, 316, 328, 333
 新の採用 172, 316, 328, 333
 生産過程への自然科学の意識的
 的応用 167, 173, 180-181, 233, 240-241
 大工業の 的基礎 163, 167, 170
 農業 386
 物質的富の生産を増大させる
 の発達 23
 マニファクチュアの 的基
 礎 163, 167
 労働過程の 的諸条件 155
 労働の 的過程 179
 技術的構成(資本の) 210-211, 329-330, 333
 資本構成
 擬制資本 371
 架空資本
 機能資本家 350-369, 379, 397-398, 402-403, 405
 旧価値 62-64, 139-140, 142, 145, 276, 278, 300, 329-330, 333, 400
 新価値
 旧労働 20-21, 24-26, 64
 新労働
 教会領
 や修道院領の没収 228
 供給 供給と需要
 供給と需要 82, 309, 321
 買い手の購買欲と支払能力だけ
 によって規定される需要 385, 394
 架空な需要(仮需) 344
 貸付可能貨幣資本の
 351-376
 供給 309
 の変化と価格変動 82, 97, 124, 316-321
 の変化による価格変動 82, 97, 124, 321
 最終需要 344
 自家需要 65
 市場への商品大量の供給 312
 社会の総需要と総労働時間
 311-319
 需要 309
 新製品の 218
 第 部門および第 部門への
 292
 賃労働者への 229
 土地の 394
 農産物の 382
 有価証券の 371-372
 有効需要 8
 労働の 212-217
 労働の と労働力の 216
 労働力の 212-217
 協業 22, 48, 59, 158-160, 163-164, 167, 171, 179, 180, 232-233
 の効果 158-159
 資本主義的生産様式の一般的形
 態としての 180
 多数の同種機械の 164
 単純 160, 164, 179, 180
 分業にもとづく 48, 160
 恐慌 8, 169, 170, 218, 250, 293, 294, 334, 344, 351, 410
 産業循環
 の可能性 250, 294, 334
 の発展した可能性 294
 の可能性を現実性に転化さ
 せる諸契機 334
 論 410
 共産主義 236
 アソシエーショ
 ン; 社会主義
 資本家的 324, 379
 強制
 通用力 102, 121, 367
 競争による資本の内在的諸法則
 の外的 151-152, 313-314, 321, 324, 333, 375, 386
 経済外的 32, 34
 工場法による初等教育の
 171
 社会による生産過程の制御の
 172
 剰余労働の 141, 182
 諸個人にたいする外的 機構
 としての国家 240
 物質代謝の再建の 173
 労働日の 的延長 229
 労賃の 的引下げ 229
 競争
 貸し手と借り手との 351
 機械と労働者との 169, 172
 自由 8, 151
 諸資本の 214, 292, 294, 308, 313, 314, 315, 318, 325, 333, 375, 386, 387
 生産諸部門間の諸資本の
 157-158, 313, 386
 生産部門内の諸資本の 316, 318-323
 労働者間の 187
 共同体
 アジア的 30, 31
 間の交換 91, 110
 成員 30
 的生産関係 29-30, 34
 の解体 30, 31
 の最後の残り物としての共
 同地 228
 共同地
 を基礎とする社会 34, 209
 を通じての所有 34
 ギリシア・ローマ的 30, 31
 ゲルマン的 30, 31, 32
 原始(本源的) 29, 30

都市 31
 共同地 228 共同体
 囲い込み法案 228
 の収奪 228
 虚偽 303, 305, 352 外観；観
 念；転倒
 の外観 303
 の観念 303, 305, 352
 金
 銀 71, 83, 90, 91, 230, 346
 匠 346
 章標 122, 123
 生産源 111, 117, 118, 120
 産金国
 地金 113
 の二つの流れ 111
 の流出入 118, 120
 銀行
 が受けている信用
 366-368, 369
 業資本 363
 経営 369-370
 資本 346, 355, 360, 362,
 363, 364, 371, 372, 377
 信用 366-367
 手形 110, 367 銀行券
 による貨幣資本の運用 366
 の貨幣資本の架空性 372
 の貨幣資本の諸源泉
 364-365
 の現金・準備金 364, 369
 の自己資本 362-364
 の支払準備 369, 372
 の損益計算書 364
 の貸借対照表 364
 の他人資本 363
 市中 369, 372
 中央 124, 367, 368, 369,
 372, 411
 振替 346, 374
 利子生み資本の集中者・媒介者・
 管理者としての 360
 銀行券
 兌換 367, 369
 兌換準備 369
 兌換請求 369
 兌換 110, 113, 369, 373
 不換 113, 124
 不換制 112, 113, 411
 銀行制度 107, 110, 263, 293,
 295, 298, 346-347, 351, 355,
 357, 361-362, 365, 371-374,
 376-379
 形成の必然性 373-377
 の土台 362
 の二つの側面 355-362
 の本来の基礎 362
 の役割 377-379
 信用システムの上層的構成部分
 としての 361-362

近代経済学 6, 7, 8
 近代的土地所有 380, 392
 金納地代(貨幣地代) 33, 34, 224
 先資本主義的地代
 金融 9, 347, 349, 411
 機関 361, 401, 402
 債 369
 市場 370, 371
 システム 9, 361
 資本 241
 商品 98, 354
 論 411
 金利生活者 365 貨幣資本家
 <
 空費 256, 257, 281, 340
 具体的有用的労働 17-19
 による生産手段の価値の移
 転・保存 63-64, 128, 138,
 276-277
 の作用度の相違としての熟
 練度の相違 60
 の相違を口実にした労賃差
 別を含む賃金体系 188
 の総体を代表する抽象的労
 働の化身としての貨幣 104
 の生産力の増大は商品の価
 値を減少させる 59, 155
 の生産力の増大は生産費用
 としての抽象的労働を減少さ
 せる 22
 社会的総労働のさまざまな
 への配分 28, 161
 商品の使用価値を生産する
 56
 人間の労働(人間労働)の一側面
 としての 17-19
 具体的労働 具体的有用的労働
 下り道 方法
 け
 経営
 機械 164, 169, 173
 銀行 369-370
 規模 386
 資本主義的 173, 246, 402
 社会的生産 234
 手工業 168
 小 小経営
 農業 380, 382, 386, 392,
 マニユファクチュア 168
 景気 産業循環
 論 410
 傾向
 回転時間を短縮させようとする
 資本の 263
 旧来の分業を廃棄しようとする
 170
 資本主義的生産の歴史的
 231-234

資本の文明化 241-242
 生産力をどこまでも発展させよ
 うとする 158
 沈殿失業者層や極貧層の増大と
 状態悪化の 220-221
 土地価格の上昇 394
 標準労働日の短縮 153
 利潤率の均等化の 298
 利潤率の低下 326-334
 利率の低下 351
 流通時間なき流通の 253,
 257, 263, 374
 経済 36 経済的構造(社会の)
 経済外的強制 32, 34
 経済学
 狭義の 40
 外国為替論 112
 恐慌論 410
 金融論 411
 景気論 410
 の課題 3, 40, 50
 の対象 40
 の独自性 40
 の方法 41-45, 47-49,
 243-244, 297-298
 の理論 14, 39, 40, 41
 経済史 40
 現状分析 410
 現代 9
 広義の 40

国際金融論 411
 国際経済論 112
 産業循環論 410
 世界経済論 410
 経済学説
 v + m ドグマ 276, 399
 エコノミクス 6, 8, 50, 54, 80
 近代経済学 6, 7, 8
 経済学批判 6, 7, 182
 ケインズ学派 8
 限界効用価値説 7, 54
 効用価値説 54, 56
 古典派経済学 6, 7, 40, 54, 182,
 250, 297, 317, 326, 333
 シーニアの最終1時間説 143,
 145
 社会経済学 3, 4, 6, 9, 50
 重商主義 247, 248, 326
 重農学派 247, 252, 317
 新古典派 6, 8, 80
 新古典派総合 6, 8
 新自由主義(新保守主義)経済学
 8
 俗流経済学 7, 54, 145
 ポリティカル・エコノミー 6, 8
 マルクス経済学 6
 マルサスの人口論 217
 ラサール流の賃金鉄則 213
 ラジカル・エコノミスト 8
 リカードウ派社会主義者 7

労働価値説 6, 7, 9, 54, 190
 経済学批判 6, 7, 182
 経済革命 38, 39 革命
 経済史 40
 経済人 ホモ・エコノミクス(経
 済人)
 経済的構造(社会の) 7, 36, 37,
 38, 39, 40, 42, 44, 114, 182
 経済的三位一体 403-404 三
 位一体
 経済的利害 40, 80, 406
 計算貨幣 95
 形態的包摂
 資本のもとへの労働の
 178-180 包摂
 形態変化(変形)
 価値の 256
 旧来の土地所有の近代的土地所
 有への 380, 391
 具体的労働の 作用 16-17
 としての場所の移動 255
 自然素材の (変形) 11
 自然の 11
 生産手段の 12, 62, 64, 138,
 300
 労働対象の 163, 165
 契約 79, 80, 106, 131, 133, 149,
 176, 184, 194, 380
 ケインズ学派 8
 欠損価値 156, 226, 311, 386, 387,
 390 超過利潤; 特別剰余価値
 現役労働者軍 219, 221
 産業予備軍
 限界効用価値説 7, 54
 現金・準備金(銀行の) 364, 369
 現金売買 105, 114, 116, 356
 掛売買; 信用売買
 原始(本源的)共同体 29, 30
 共同体
 原始的蓄積(資本の) 本源的蓄
 積(資本の)
 現象 6, 7, 8, 9, 41, 42, 43, 44,
 45, 50, 64, 65, 82, 91, 182,
 184, 185, 190, 195, 261, 295,
 297, 298, 301, 325, 326, 331,
 333, 344, 350, 410 本質
 現状分析 410
 現存社会主義 4, 5, 235, 237, 393
 現代 3-5, 6, 9, 14, 54, 112,
 124, 136, 173, 183, 219, 242,
 392, 402, 407, 410, 411
 経済学 9
 原料 13, 142, 144, 145, 164,
 165, 258, 259, 308

こ
 公害 173, 240
 交換 商品
 共同体間の 91, 110
 価値 53, 54, 64, 65, 91

過程 85-90 貨幣発生 法 152-153, 171-172
 の必然性 自動化 22, 59
 関係 50, 65-71, 75, 83 自動機械体系をもつ 164,
 価値形態 168
 収入と資本との 277 煉獄としての 169
 収入と収入との 276 工場内分業 28, 161, 179 作業
 商品 34, 71, 79, 80, 89, 90, 場内分業
 91, 149, 177, 203, 273, 391 購買 販売と購買
 直接的な生産物 111, 117 購買時間 253, 259
 物物 99, 100 購買手段 100, 101, 106, 109,
 好況 217 産業循環 111, 118
 好景気 410 産業循環 国際的 111-112 世界貨
 工場 22, 28, 59, 138, 152, 153, 幣
 160, 161, 164, 168, 169, 171, 効用価値説 54, 56
 172, 179, 218, 219, 239, 250, 高利資本 230, 373
 261, 262, 286 作業場 小切手 110, 113, 357, 368, 369,
 「一国一」 239 377
 機械経営にもとづく 164, 国債 230, 366, 371
 169 国際金融論 411
 協同組合 239 国際経済論 112
 近代産業の中心としての 国際的購買手段 111-112 世界
 219 貨幣
 から出てきた未来の教育の 国際的支払手段 111-112 世界
 萌芽 171 貨幣
 制手工業(マニュファクチュ 極貧層 220-221 相対的過剰
 ア) 160-161 人口
 制度 169, 171, 172 国民所得 399-403, 409
 内分業 28, 161, 179 統計 402, 403
 に投下された固定資本 138, の諸階級への分配 402
 250, 261-262, 286 の再分配 401-402

の第1次分配 401-402 諸 の普遍的な人間的本性
 の第2次分配 402 82
 派生的所得 402 諸 の類的本質 82
 本源的所得 402 全体的に発達した諸 170
 国民総生産 400-401 全面的に発達した諸 28,
 国民総生産物 400 36, 153, 171, 239, 242
 国有地 人間諸 9, 10, 16, 29, 36,
 の盗奪 228 177, 178
 私的所有としての 392 歴史をつくるものとしての諸
 個人 人間 の行動 36, 39
 アソシエイトした諸 234, 労働しない諸 27, 30, 406
 236, 237, 238, 379, 408 労働諸条件から切り離された労働
 協働する諸 159, 167, 181, する諸 と労働諸条件を
 236-238 人格的に代表する労働しない
 考察の出発点としての人間諸 諸 との関係 406
 9-10 労働する諸 14, 29, 79, 153,
 の人間的発達 13-14 175, 177-178, 181, 182,
 的所有 個人的所有 207-209, 231-232, 233,
 自覚した諸 30, 159, 237-239, 242, 405-408
 236-237, 242, 408 的消費 10, 24, 199, 256,
 私的諸 7, 34, 238 265, 268, 335 消費
 自由な諸 29, 35, 74, 153, 個人的所有 231-234, 238-239
 231-233, 236-239, 408 の再建 233-234, 239
 諸 の意識や意欲を規定する 個性 28, 35, 78, 82, 187, 231,
 もの 37 232, 233, 238, 239, 407, 408
 諸 の意識的な人格的連合関 自由な 231-233, 238-239
 係 35 国家 8, 95, 101, 102, 110, 113,
 諸 の人格的依存関係 30 121, 122, 123, 124, 152, 230,
 諸 の人格的敵対関係 235, 238, 240, 241, 371, 379,
 諸 の物象的依存関係 34 382, 392, 393, 402, 410, 417

国家（政府）紙幣 102, 113, 121-124, 369
 国家資本主義 235-236, 393
 固定資本 259-260, 261, 300, 302, 318
 拡大再生産におけるの償却・更新が含む独自の問題 289
 の回転にかかわる社会的再生産の条件 279
 の価値移転 138-139, 259-260
 の社会的再生産と流通 278-280, 286
 の償却と更新 214-215, 216, 278, 279, 280
 の償却ファンドの積立と投下 104, 278, 279, 289, 374
 労働手段が とならない場合 261
 古典派経済学 6, 7, 40, 54, 182, 250, 297, 317, 326, 333
 個別資本 151, 156-158, 194, 202, 214, 252, 263, 264, 298, 328, 333, 375-377, 379, 398
 社会的総資本
 個別的 156-158, 165, 311-314, 333, 385-390
 市場価値；社会的価値
 個別的生産価格 387
 生産価格

個別的等価物 64-66, 68
 等価物

さ

サービス 381, 402
 資本 402
 労働 402
 債券 366, 369, 371
 債権 債権と債務
 債権と債務
 債権 105-111, 116, 356-357, 366, 374
 債務 9, 105-111, 116-117, 119, 354, 356-357, 366-369, 371-375
 債権と債務の相殺 108-110, 116-117, 294, 357, 374-375
 財源 ファンド
 在庫 217, 254, 255, 256, 343, 344
 消費 256
 商品 256, 291, 343, 344
 生産用 256
 最終1時間説 143, 145
 最終消費 386, 341
 再生産 再生産（資本の）；社会的再生産（資本主義社会）；社会的再生産（社会一般）
 再生産（資本の）
 資本価値が他人労働の物質化に

転化する 196, 199
 資本所有の 199-200
 資本の 191-209, 249, 251
 資本の拡大 201-209, 249, 251
 資本の単純 192-200, 249, 251
 資本関係の 193-194, 203
 商品資本の循環が含む 251
 商品生産の所有法則が資本主義的取得の法則に転回する 203-207
 諸個人の労働が資本関係と資本所有を生みだす 207-209
 生産資本の循環が含む 249-295
 再生産過程 191, 286, 295, 358, 376
 における生産・流通・消費の関連 295, 404
 に示される恐慌の発展した可能性 294
 の攪乱 291-292
 の弾力性 343-344
 の停滞と中断 337
 の内的関連 342
 再生産表式 267-272
 社会的再生産（資本主義社会）
 財政支出 402
 租税
 最低流通必要貨幣量 122

再分配（国民所得の） 401-402
 国民所得
 債務 債権と債務
 最劣等地 381-383, 385, 388-390
 優等地
 以外の土地 385, 388-389, 390
 差額地代 381, 385-391, 392
 絶対地代
 の第1形態 391
 の第2形態 391
 作業場 159, 160, 161, 180
 工場
 作業場内分業 160-161
 工場内分業
 搾取
 階級社会における 27
 資本主義における 141, 151, 152, 169, 174-176, 178, 182, 200, 221, 231, 232, 352, 353
 奴隷制における 31-32
 農奴制における 32-33
 隷農制における 32-34, 224
 労働力の率 140-142
 産業
 革命 152, 163
 資本 229, 230, 246, 248, 252, 257, 263, 298, 299,

335-346, 349-350, 356, 358,
 361, 373-374, 397-398, 401,
 405
 士官 160 マネジャー
 下士官 160 職制
 予備軍 216, 218, 219, 220,
 221 現役労働者軍; 相対的
 過剰人口
 産業循環 169, 212, 217-218,
 219-220, 344, 351, 410
 の諸局面 169, 217-218,
 351, 410
 平静状態 351
 中位の活況 217, 218, 410
 活気の増大 351
 好況から繁栄への時期 217
 繁栄 218, 351, 410
 好景気 410
 熱狂的な生産の時期 169
 過度の緊張状態 410
 外観上の繁栄 344
 パニック 351
 過剰生産と恐慌 169, 218, 351,
 410 恐慌
 停滞 218, 351
 不況 169, 220, 410
 中休み期間 212
 論 410
 産金国 111, 117
 3流れの運動 272, 283 社会

的再生産 (資本主義社会)
 三位一体
 経済的 の観念 403-405
 的定式 190, 396, 403-404,
 409
 し
 地金取扱業 346
 時間極めの売買 129, 149, 188,
 189, 348 貸付; 賃貸借; 労働
 力の売買
 時間賃金 185-86, 187, 188, 189
 出来高賃金
 の具体的形態 186
 率 185-186
 指揮 31, 159, 160, 174, 176,
 177, 178, 183, 190, 350, 353
 指揮と監督 159-160
 自己労働 80, 198, 200, 203,
 231, 234, 239, 395-396 他
 人労働
 にもとづく所有 80, 200,
 203, 231, 234, 239, 395-396
 の物質化 80, 198
 支出
 貨幣の 250, 275, 294, 309,
 368, 371
 資本の 301-302, 304, 318
 生涯 132, 134
 費用の 302, 338, 340-341,

374
 労働の 16, 58, 300, 301,
 311, 336
 労働力の 17-19, 21, 35,
 58, 74, 135, 188-189
 労働力の再生産費の 61
 市場
 遠隔地 308
 株式 371
 貨幣 308-309, 347-351,
 373, 376
 局地的 308
 金 281
 金融 370, 371
 原料 308
 国内 229, 230, 308
 国内 の形成 229-230
 債券 371
 資本 308, 309
 経済 50, 52
 証券 309
 消費財 308
 商品 174, 204, 207, 308,
 309
 生産財 308
 生産物 308, 309
 世界 110-112, 169, 230,
 233, 241, 308, 343, 410
 土地 308, 309, 395
 労働 48, 128, 129, 151,
 174, 185, 202, 204, 207, 215,
 216, 218, 227, 240, 308, 309
 市場価格 310-313, 316-318, 321,
 323, 325, 339, 382-383, 385,
 387-389
 市場価値 308, 312-314, 321, 333,
 385-391 個別的価値; 社会的
 価値
 の法則 389
 市場経済 50, 52
 市場生産価格 387
 地所の清掃 228
 「自然価格」(スミス) 317
 自然過程
 の意識的制御 11, 12
 の必然性 239
 自然発生的分業 34, 85, 176,
 353-354, 405 分業
 思想 36, 39, 78, 235, 354
 革命 39
 社会主義の 235
 社会的意識形態としての
 36
 体制 39
 拝金 78, 354
 市中銀行 369, 372
 失業者 8, 19, 20, 217, 220, 221
 産業予備軍; 相対的過剰人口
 実現
 価格の 98, 100, 102,

105-106, 111-117, 128, 300
 貨幣の形式的使用価値の
 106
 個別的価値の 156
 商品資本の 247, 256, 335,
 337
 商品の価値としての
 86-89
 商品の使用価値としての
 86-89
 剰余価値の 252
 特別剰余価値の 157
 利潤の 304, 319-321
 桎梏 38, 41, 232, 233, 240
 実践 14, 37, 183, 260, 299, 306,
 317 認識
 実体的包摂
 資本のもとへの労働の
 179-181 包摂
 実物資本 349
 私的所有 30, 34, 74, 79, 80,
 129, 177, 182, 203, 204,
 231-234, 238-239, 241,
 379-380, 389, 391-393, 395
 の人格化としての 者
 389
 資本主義的 231-234,
 238-239
 物象にたいする人格のかかわり
 としての 74, 78-80
 私的労働 34, 74-75, 80, 85, 97,
 175, 176, 237, 354 社会的労働
 労働
 児童労働 168
 シーニアの最終1時間説 143, 145
 支払
 銀行の 準備 368, 369-
 370, 372
 期日 108, 366
 差額 110
 指図証 372
 の相殺 110, 116-117
 の連鎖 108, 294
 の不能 288, 344
 約束 105, 106, 107, 356
 約束証書 109
 支払われるべき債務の総額
 116-117
 賠償金の 111
 支払手段 105, 106, 108, 109,
 110, 111, 114, 116, 117, 119,
 250, 293, 294, 346, 378
 買い手の 能力 52, 385, 394
 広義の流通手段としての流通す
 る 117
 国際的 111-112 世界貨幣
 としての貨幣が含む恐慌の
 抽象的可能性 293-294
 としての貨幣の機能

105-110
 としての貨幣の流通
 106-110
 の準備金 346, 358, 360,
 364, 365, 374-375, 377
 の流通速度 116
 の流通量 116
 支払労働 142, 190 不払労働
 紙幣(国家紙幣) 102, 113,
 121-124, 369
 紙幣減価 124
 による物価騰貴としてのイ
 ンフレーション 122-124
 資本
 アソシエイトした 379
 架空 370-373
 貸付 349
 貸付可能な貨幣 貸付可
 能な貨幣資本
 貨幣 貨幣資本
 貨幣取扱 貨幣取扱資本
 可変 可変資本
 擬制 371 架空資本
 銀行業 363
 銀行 346, 355, 360, 362,
 363, 364, 371, 372, 377
 結合 371, 379 アソシ
 エイトした資本; 株式資本
 高利 230, 373
 固定 固定資本
 個別 151, 156-158, 194,
 202, 214, 252, 263, 264, 298,
 328, 333, 375-377, 379, 398
 サービス 402
 産業 229, 230, 246, 248,
 252, 257, 263, 298, 299,
 335-346, 349-350, 356, 358,
 361, 373-374, 397-398, 401,
 405
 実物 349
 化(還元) 370,
 371-372, 394-395 架空資
 本
 関係 資本関係
 還元(化) 370,
 371-372, 394-395 架空資
 本
 構成 資本構成
 条件 386, 388-390
 所有 資本所有
 ・賃労働関係 資本関係
 (資本・賃労働関係)
 としての貨幣 111
 と土地所有 380, 391-393
 による人間支配 183, 240
 による労働の支配 161,
 168
 の一般的定式 126
 の一般的分析 409, 410,
 411

の移動 316, 317, 321, 322, 339, 375, 387
の回転 258-263, 316, 340, 342
の回転時間 259, 262
の回転数 259, 262
の価格 348, 349
の過剰 334 過剰
の過剰生産 334 過剰生産
の構成 資本構成
の競争 競争
の購買時間 253, 259
の再生産 再生産(資本の)
の3循環形態 245, 252
の循環 245-257, 267-268, 297, 298, 349
の集中 集中(資本の)
の人格化 人格化
の新旧価値構成 資本構成
の制限性 166, 215, 240, 242, 334
の生産時間 252, 257, 258, 263, 335
の生産力 159, 180-181, 306
の総過程 244, 297
の増殖欲求 212-218, 358

の投下と還流 126, 138-139, 192, 195, 258, 259-261, 262, 275, 278-280, 284-288, 336, 345, 349, 363
の蓄積 資本蓄積
の謎 125, 126, 127
の年回転額 262
の年回転数 262
の偏狭な支配 241
の変態 254, 337, 374
の販売時間 252-253, 259, 336, 337
の本源的蓄積 本源的蓄積(資本の)
のもとへの労働の包摂 包摂
の有機的構成 資本構成
の遊休 263, 279, 286, 288, 358-360, 364-365, 374-376, 378
の流通 191, 243, 244, 247, 248, 252, 253, 259, 264-295, 297, 298, 335, 345, 374
の流通時間 流通時間(資本の)
物神 354, 355, 396 物神
社会的 244, 328, 333
社会的総資本 151, 202, 212, 214, 220, 244, 251-252,

264-295, 297, 318-324, 328, 377-378, 399
社会的総 再生産と流通 264-295
商業 商業資本
商人 (前期的商業) 230
商品 商品資本
商品取扱 商業資本
信用 363
生産 245, 249, 252, 260, 261, 268, 270, 271, 286, 349
生産の循環 247, 249-250
追加貨幣 263
追加 201-203, 205, 216, 249-251, 282, 284
不変 不変資本
流動 流動資本
資本家
貨幣 350, 362, 365, 398
機能 350-369, 379, 397-398, 402-403, 405
産業 335, 337, 338, 397
産業の生成 230
の消費 消費
商業 335, 337, 338, 339, 350, 356, 397, 405
農業 173, 228, 229, 380
農業の生成 229
資本関係(資本・賃労働関係)

34-35, 174-178, 194, 199, 203, 207-208, 224, 350, 353, 392, 406, 409
の拡大再生産 203, 207-209
の再生産 193-194, 199
の発生 226-227
資本構成 210-211, 315, 318, 319-321, 326-330, 333, 383-384
資本の価値構成 210-211, 329, 332
資本の技術的構成 210-211, 329-330, 333
の高度化 211, 213-216, 326-327, 332-333
資本の新旧価値構成 329-330
資本の有機的構成 210-211, 284, 290, 292, 298, 307, 315, 318, 326-327, 328, 329-330, 331-333, 383-384
資本主義 48, 170, 223, 235, 240, 241, 393, 410
カジノ 373
ギャンブル 373
国家 235-236, 393
国家 国 393
経済 5, 6, 47, 50, 51, 403, 404, 411
国 8, 9, 153, 171, 217, 220,

221, 235, 240, 241, 392, 393, 410, 411
 国家 410
 システム 5, 9, 221, 242, 393
 社会 5, 6, 7, 9, 29, 38, 39, 40, 41, 51, 53, 61, 75, 81, 82, 127, 128, 129, 166, 176, 177, 181, 182, 190, 235, 238, 239, 240, 267, 350, 389, 392, 394, 395, 402, 404, 405, 406, 407, 409, 410
 時代 233, 238
 制度 233
 体制 233
 的外皮 233
 的経営 173
 的私的所有 231, 232, 233, 238, 239
 的取得 80, 203, 207, 208, 209, 233, 393
 的取得の法則 207, 393
 的商品 374
 的所有 207, 208, 209, 234
 的生産 資本主義的生産
 的生産過程 159, 179, 180, 233
 的生産関係 34, 35, 48, 141, 158, 174, 175, 176, 177, 182, 183, 193, 209, 220, 240, 241, 350, 406
 的生産形態 170
 的生産様式 資本主義的
 生産様式
 的大工業 170, 171, 172
 的蓄積 220, 221
 的地代 380, 381 地代
 的農業 173, 228, 229, 230, 380, 382
 的分配・消費関係 334, 406
 的流過程 251
 世界 5, 411
 先 的社会 30-34, 49, 391
 先進 国 153, 171, 217, 220, 221, 240, 241
 資本主義的生産
 の一般的研究 409
 の運動法則 40, 41, 231-234, 409
 の制限性 242 制限
 の総過程 244, 297
 の総過程の諸形態 297-408
 の内的関連 297, 409
 の矛盾 7, 170-172, 235, 240, 242, 334, 354-355, 410
 の無政府性 172, 292-293
 の歴史的位 置 231-241
 資本主義的生産様式
 経済学の研究対象としての

40
 から生まれる資本主義的取
 得法則 233
 における収入の源泉として
 の生きた労働 397
 に特有の人口法則 217
 の運動法則 231
 の時代 230
 の生活条件としての相対的
 過剰人口 217-218
 の発展段階：単純協業，マニ
 ュファクチュア，大工業 179
 の分析 235
 の内在的形態としての銀行
 制度 377
 の内部での私的所有として
 の資本の止揚 379
 の内部での の止揚とし
 ての株式会社 379
 のもとで貨幣が受け取る使
 用価値 350
 のもとでの社会的再生産
 244
 のもとでの潜在的な社会的
 所有 238
 封建的生産様式から への転
 化過程 230
 マニユファクチュアが の支
 配的形態となっている時代
 160
 マニユファクチュアから大工業
 への の発展 161
 資本所有 199-200, 203, 207, 350, 379, 393, 403 所有
 の果実としての利子 352, 403
 の再生産 199-200
 資本蓄積
 が労働者階級に及ぼす影響
 210-221
 資本の蓄積 201-209
 資本の蓄積率 284, 290, 292, 293, 294
 資本の本源的蓄積 222-230, 231-232, 234
 社会的再生産における の法
 則と条件 282-293
 促進と利潤率の低下との矛
 盾 334
 蓄積のための蓄積 250, 398
 社会 36 社会構成体；社会シス
 テム
 階級 27
 協同組合的な 237, 239
 現代の 3, 4-9, 14, 136, 183, 392, 407
 社会主義 235
 資本主義 5, 6, 7, 9, 29, 38, 39, 40, 41, 51, 53, 61, 75, 81, 82, 127, 128, 129, 166, 176,

177, 181, 182, 190, 235, 238, 239, 240, 267, 350, 389, 392, 394, 395, 402, 404, 405, 406, 407, 409, 410 資本主義革命 38 革命の経済的構造 36, 40 の生産力 5, 14, 15, 22, 29, 158, 181, 218 労働の生産力 の発生・発展・消滅の法則 39, 40, 41
 社会経済学 3, 4, 6, 9, 50
 社会構成体 36, 37, 38 社会システム 社会革命による の交替 38 の土台としての社会の経済的構造 36 の法的・政治的上部構造 36, 37, 40
 社会システム 4, 5, 9, 36, 37, 235, 236, 242 社会構成体
 社会主義 7, 8, 235, 237, 393, 408 アソシエーション 現存 4, 5, 235, 241, 393 社会 4, 235
 リカードウ派 7
 ラジカル・エコノミストの 8 の思想 235 の運動 235
 マルクスの 235
 社会的意識 5, 6, 37, 39, 40 の諸形態 36, 37, 40
 社会的価値 156-157, 165, 311-313, 390 個別的価値 ; 市場価値 見せかけだけの 390
 社会的再生産 (資本主義社会) 拡大再生産 282-293, 294, 295 貨幣材料の 281-282 恐慌の諸条件としての の諸条件 293-294
 固定資本の 278-280 再生産の条件 = 法則 267-273, 279, 282-283, 288, 291-290, 293, 295
 再生産表式 267-272 における生産・流通・消費の内的関連 295, 344 を媒介する貨幣流通 273-276
 3 流れの運動 272, 283
 社会的生産の 2 大部門: 生産手段 生産部門と消費手段生産部門 268
 社会的総商品資本の三つの価値部分: 不変資本と可変資本と剰余価値 268
 単純 272
 単純 から拡大 への移行 289-291, 294
 社会的再生産 (社会一般) 諸要素の部門間相互補填 265-266 諸要素の部門内内部補填 265-266 の一般的法則 23-29, 264-267 の一般的法則の各社会における貫徹形態 30-36, 266-267
 社会的生産の 2 大部門: 生産手段 生産部門と消費手段生産部門 265
 社会的総生産物の三部分への分割: 再現生産手段と必須生活手段と剰余生産物 23-27
 単純再生産 23
 社会的資本 244, 328, 333 資本 社会的使用価値 73 社会的消費 10 社会的所有 74, 233, 234, 238, 393
 社会的生産 社会を形成している諸個人の生産としての 29, 30, 74, 82, 84, 97, 173, 194, 251, 265, 291, 293, 377 多数の諸個人の協働による生産 231, 236-238
 社会的生産有機体 36, 181 社会システム 社会的総資本 151, 202, 212, 214, 220, 244, 251-252, 264-295, 297, 318-324, 328, 377-378, 399 個別資本 の再生産と流通 264-295
 社会的総剰余価値 318, 319, 320, 322, 323 の比例的分配としての平均利潤 324
 社会的必要労働時間 56-58, 59, 62-64, 132, 154-158, 225, 311-312 と個別的労働時間 311 による社会的価値の規定 156, 311 による商品の価値規定 56-58
 社会的物質代謝 100, 110 物質代謝 社会的分業 28, 34, 73-74, 80, 84-85, 98, 161, 170, 176, 335, 353-354, 405 分業 と作業場内分業 161 の一分枝としての商業資本の自立化 335 のたえざる変革 170
 社会的労働 35, 74-75, 80, 84,

159-160, 167, 176, 180, 353
 私的労働
 社会発展の一般的法則 36-39
 借地農業者 226, 229, 380, 381,
 382, 383, 385, 388 農業資本
 家
 捨象 18 抽象
 自由
 時間 36, 153 自由に処
 理できる時間
 で協同組合的な労働 237
 で平等な生産者たち 236,
 237
 な移動(資本の) 322, 339,
 375
 な個性 231-233, 238-239
 個性
 な諸個人 231, 233, 237,
 238, 239, 408
 な人間 235, 236, 237
 な人間社会 235-237
 な発展(生産諸力の) 232
 な発展(万人の) 236
 な発展(各個人の) 236,
 237
 に処理できる時間 26, 28
 自由時間
 放任 7, 8
 人格的な
 二重の意味での 128, 222

宗教改革 228
 自由競争 8, 151 競争
 自由時間 36, 135 自由
 重商主義 247, 248, 326
 収奪 227, 228, 230, 231, 232,
 233
 共同地の 228
 私的所有者の 232
 者からの 233
 少数の横奪者による民衆の
 234
 少数の資本家による多数の資本
 家の 232, 233
 人民大衆の強力的な 228
 すべての個人からの生産手段
 の 232
 直接生産者からの労働諸条件の
 231
 農民からの土地 228
 民衆による少数の横奪者の
 234
 集中(資本の) 214-215, 216, 232,
 334, 379
 貨幣資本の 346, 355, 358,
 360, 364, 365, 375, 377
 収入 397 所得
 貨幣資本家の 398
 機能資本家の 397-398
 銀行の手数料 344
 金利生活者の利子 365

国民の (国民所得) 国民
 所得
 最貧困層の 220
 資本家の 192, 201, 264,
 272
 資本還元される 源泉 370
 資本還元される 源泉として
 の地代 394, 396
 諸形態 298, 397-399
 と資本との絡み合い 295
 と資本との交換 277
 ととの交換 276
 と所得 401
 の消費手段への転換 281
 の諸源泉 371, 396,
 397-399, 403
 の流通 254, 272
 生涯 133-134
 総 と純 398-399
 土地所有者の 391, 398
 労働者の 264, 272, 397, 398
 重農学派 247, 252, 317
 自由放任 7, 8 自由
 熟練 59, 60, 169, 187
 取得 9, 11, 16, 29, 74, 139,
 141, 174-177, 205-207
 自己労働による 80, 198,
 200, 203, 395,
 自己労働による土地の
 395-396

私的 74
 社会的 74
 使用価値の 11
 商品生産の所有法則の, 資本主義
 的 の法則への転回
 203-209
 剰余価値の 49, 139, 172,
 174, 198, 199, 200, 205, 207,
 208, 209, 354
 剰余生産物の 29, 34, 141,
 174
 剰余労働・不払労働・他人労働の
 199, 200, 203, 205, 209
 生産物の 9
 地代の 34, 395, 398
 超過利潤の 333, 342, 384,
 385, 387
 等価なしの 195-196, 207
 特別剰余価値の 156, 158,
 165, 311
 配当の 366
 売買差益の 366
 平均利潤の 318, 324, 342,
 350, 382, 389, 397
 利子の 365, 368
 利潤の 299, 315, 344, 348,
 362, 363
 需要 供給と需要
 循環(資本の) 245-247, 267-268,
 297, 298, 349

| | | | | | | |
|----------------|-------------------|---------------------|-----------------------------|-------------------|-------------------------------|-------------------------|
| 純収入 | 他人のための | 56, 73 | の自立化 | 257, 335, 336, | 非生産的な | 27 |
| と総収入 | 単純な商品流通の目的としての | | 342 | | 本来の消費 | 10 |
| の源泉としての剰余価値 | | 125 | の利潤 | 339 | 労働する諸個人の | 24-25, |
| 98 | 保管による | の維持 | 255 | 小経営 | 38, 172, 223, 224, 227, | 135 |
| 純粋な流通費 | 本来の貨幣の独自の | 104 | 231, 238 | 経営 | | 労働力の消費 |
| 準備金(銀行の) | 利潤を取得できるという | | 的生産様式 | 34, 38, 209, | 148-149 | |
| 行 | | 348 | 231, 232 | | 消費財 | 消費手段 |
| 生涯支出 | 労働力の | 127-128, 188 | 上向 | 上り道 | 消費者 | 335, 338, 365, 369, 391 |
| 生涯収入 | 償却ファンド(固定資本の) | | 常識 | 7, 81, 190 | 個人的 | 251 |
| 生涯賃金 | 278-280, 289, 374 | | 的イメージ | 50, 125, 295, | とみなされた社会 | 391 |
| 使用価値 | 商業 | | 298, 381, 403, 404 | | 生産的 | 251 |
| 278 | 貨幣 | 109, 110, 357, 374 | 小商品生産 | 226 | 消費手段 | 10, 24, 192, 217, 224, |
| 運輸による | 資本 | 商業資本 | 小商品生産者 | 224-225 | 239, 254, 256, 264, 276, 291, | |
| 価値表現の材料としての | 資本家 | 335, 337-339, 350, | 証書貸付 | 366 | 308, 400 | 生産手段 |
| 47 | 356, 397, 405 | | 小農民 | 223-224, 229, 380 | 生産部門 | 265-266, |
| 貨幣の形式的な | 信用 | 356, 357, 361, 362, | 消費 | | 268-272, 282-283 | |
| 資本として機能するという貨幣 | 366, 374, 377 | | 個人的 | 10, 24, 199, 256, | (消費財)市場 | 308 |
| の | 利潤 | 298, 335, 337, 338, | 265, 268, 335 | | 消費ファンド(資本家の) | 201, |
| 社会的再生産分析のさいの | 341, 349, 373 | | 最終 | 336, 341 | 270 | |
| 視点 | 流通 | 357, 367 | 資本家の | 192, 196- 198, | 消費在庫 | 256 |
| 社会的 | 労働 | 336, 340, 402 | 199, 201-202, 251, 268-270, | | 在庫 | |
| と価値との矛盾 | 労働者 | 336 | 282-283, 334 | | 商品 | |
| としての実現(商品の) | 商業資本 | | 社会的 | 10 | ありとあらゆるものの | 化 |
| 86-89 | 狭義の | (商品取扱資本) | 諸関係による制限 | 334 | 52, 130 | |
| の取得 | 広義の | 344 | 将来の | 365 | 貨幣 | 91, 94, 95, 103-104, |
| の生産 | 商品取扱資本 | 344, 345, 374, | 生産的 | 10, 24, 251 | 111, 117 | |
| の喪失 | 375 | | 賃労働者の | 251, 295, 135, | 貨幣 | の独自の価値表現 |
| という皮の脱皮 | の運動形態 | 336 | 174, 194-195, 251, 268-270, | | 金融 | 98, 354 |
| 商品としての貨幣の | の外的自立性 | 342 | 334 | | 研究の出発点としての | 52 |
| 商品の | の機能 | 335 | 直接生産者以外の人工の | 27 | 交換 | 34, 71, 79, 80, 89, 90, |
| | | | | | 91, 149, 177, 203, 273, 391 | |

交換 356
 生産 商品生産 商品資本 245-246, 251-252,
 在庫 256, 291, 343, 344 253, 284, 329, 335, 337, 349
 在庫 の循環 247, 252, 267-268
 市場 174, 204, 207, 308, 商品生産 35, 50-54, 56, 59, 73,
 309 74, 76, 77, 80-82, 85,
 資本 商品資本 127-128, 189, 281
 信用 356-357, 361-362, 小 226
 366, 374, 377 信用 小者 224-225
 世界 商品世界 関係 29, 30, 34, 47, 72-83,
 としての貨幣 347-348 84-85, 141, 175-177, 182,
 としての土地 393, 406 243, 405 生産関係
 としての労働力 128, 174, 者 56, 74-75, 84, 224
 229, 406 社会 56, 61, 64, 75, 100,
 取扱資本 商業資本 380, 395
 による人間支配 183 と市場経済 50-51
 の命がけの飛躍 98 ととしての資本主義的生産
 の過剰 334 176-177, 293, 391
 の過剰生産 334 にとつての不可欠の契機と
 の人格化 88 しての価値からの価格の乖離
 の実現 実現 96-67
 の脱皮 98 の一般化 87-88, 176, 251
 の2要因 55-56 価 の経済法則 226
 値; 使用価値 の消滅 239
 の変態 98, 99, 100, 105, の所有法則 78-80,
 107, 108, 118, 254, 256 203-209, 380, 391-393, 395
 物神 78, 396 物神 のもとでの小生産者の両極
 流通 98-99, 100-101, 分解 223-226, 232
 104-105, 110, 114, 117, 122, のもとでの生産関係の物象
 125, 177, 250, 254, 273, 294, 化 75-78

のもとでの物象の人格化 199, 200, 205, 354
 78-80 の取得の結果としての資本
 のもとでの物神崇拜 所有 207-209
 75-78 の生産 135-140 絶対
 のもとでのホモ・エコノミク 的剰余価値; 相対的剰余価値
 ス幻想 80-83 の物質化としての資本
 商品世界 57, 71, 72, 78, 80, 81, 196-199
 83, 88, 89, 90, 93, 95, 103, 法則 323-325, 381
 104, 114 率 剰余価値率
 世界の共同事業 71, 83-84 剰余労働の特殊資本主義的形態
 上部構造(社会構成体の) 36, 37, としての 137
 40 社会構成体 絶対的 絶対的剰余価値
 剰余価値 135-137 相対的 相対的剰余価値
 資本家の収入としての 192 特別 特別剰余価値
 資本の目的・衝動としての の 社会的総 318, 319, 320,
 生産と取得 151, 158, 172, 322, 323
 178, 248, 299, 307, 315, 321 社会的総 の比例的分配とし
 収入の源泉としての ての平均利潤 324
 397-399 年 率 262-263
 純収入の源泉としての 398 年 量 260-263
 からの控除としての流通費 平均利潤による の隠蔽 325
 527 利潤の形態における の神秘
 増大の法則 151 化 301-303
 増大の方法 150-151 剰余価値率 140-142, 262, 263,
 の具体的な諸形態 297 284, 292, 303, 304, 306, 307,
 企業利得; 地代; 利子; 利潤; 315, 319, 320, 326, 327, 328,
 の資本への転化(蓄積) 201, 329, 330, 331, 384
 282 と利潤率 140, 303-304,
 の実現 252 329-330, 332
 の取得 49, 139, 172, 198, と利潤率の低下傾向 327,

328, 329-330, 332
 年 262-263
 労働力の搾取率としての
 140-142
 剰余生産物 26-28, 29, 31, 34,
 135-136, 141, 174, 193, 203,
 224, 229, 264-266, 399
 の取得 29, 34, 141, 174
 剰余労働 17, 26-27, 28, 32,
 135-137, 141-142, 144, 150,
 154-155, 177-178, 184, 188,
 190, 194, 195-196, 205-209,
 225-226, 248, 278, 300-301,
 306, 324, 350, 352, 379, 384,
 398 必須労働
 と剰余生産物 26, 135
 と抽象的労働 17
 による剰余価値の生産 137
 による民富の形成
 のかたまりとしての資本
 196-198, 205-207
 の搾取 137
 の搾取度としての剰余価値
 率 140-142
 の搾取をおおいかくす表層
 としての商品流通 177
 の搾取をおおいかくす労賃
 形態 190, 301
 の搾取をおおいかくす利潤
 形態 306
 の取得の結果としての資本
 所有 207-209
 の対象化としての剰余価値
 137, 194, 205, 207, 398
 の追加資本への転化 205
 の特殊資本主義的形態とし
 ての剰余価値 137
 生産力の発展による の増大
 28, 154
 絶対地代の実体としての農業部
 門で対象化した 384
 必須労働と必須労働プラス
 との交換 195-196
 不払労働としての 142,
 207, 300
 利子の実体としての対象化した
 350
 労働日の延長による の増大
 150-151
 労働力価値の低下による必須労
 働の への転化 154-155
 職制 160 産業下士官
 女性労働 152, 168, 171
 所得 251, 252, 353, 400, 401,
 402, 403 収入
 国民 国民所得
 所有 30, 34, 78-80, 199-200,
 203-209, 227-229, 231-234,
 238- 239, 350, 391-393, 406
 アソシエイトした諸個人の

74, 234, 238-239, 279
 貨幣の 129, 132, 149, 194,
 398
 共同 (共有) 30, 237
 共同体のもとでの 30, 31,
 34
 個人的 個人的所有
 国家による (国有) 228,
 382, 392, 393
 自己労働にもとづく 80,
 200, 203, 231, 234, 239,
 395-396
 自治体による 392
 私的 (私有) 私的所有
 資本主義的私的 231-234,
 238-239
 資本主義的 208, 209,
 233-234
 資本主義的生産関係は資本家に
 よる の関係だとする俗説
 209
 資本価値の 196, 198, 200,
 222
 資本主義的生産の内部での私的
 の止揚 241
 資本 199-200, 203, 207,
 350, 379, 393, 403
 資本 の果実としての利子
 352, 403
 資本 の再生産 199-200
 社会的 74, 233, 234, 238,
 393
 社会的な諸個人の 238
 少数者の大量 232, 238
 商品交換における私的 の相
 互的承認 34, 74, 78-80,
 391
 商品生産関係を基礎とする法的
 関係としての 関係の成立
 34
 商品生産の 法則 78-80,
 203-209, 391-393, 395
 商品生産の 法則の資本主義
 的取得法則への転回 129,
 203-209
 関係 209
 権 204, 207, 356, 371, 380,
 391-392
 権原 80, 204, 371
 者 所有者
 喪失 224
 と労働との分離 207, 354
 と労働との関係の逆転 209
 名義の移転 252
 生産過程の外部における経済的
 諸人格の相互的承認関係とし
 ての 関係 209
 生産手段の 30, 175, 208,
 209, 231, 238
 生産手段の 形態の転換 231

多数者の矮小 232
 他人の 376
 土地 土地所有
 奴隷 31
 分散した諸個人の 34, 234
 封建的 32
 法人 392
 無 80, 175, 222, 231, 232
 隷農による事実上の 32
 労働者たちの協同組合的な 237
 労働する諸個人と労働諸条件との癒合にもとづく私的 232
 労働する諸個人のかかわりによる資本の生産 207-209
 労働力の 128-129
 所有者
 株式の 371
 貨幣の 129, 350, 376, 406
 貨幣資本の 376
 近代的 228
 国債の 371
 私的 34, 79, 80, 203, 204, 231, 232, 380, 392
 資本 379
 商品 78, 79-80,
 自立した 32
 生産手段の 175, 238, 406
 大土地 228
 同時に労働者でもある 34
 土地 32, 298, 313, 380-396, 397, 398, 400, 402, 403, 405, 406, 409
 奴隷 31
 非 406
 封建的土地 32
 労働力の 128, 129, 132, 149
 自利 80, 81, 141, 177
 人格 30-32, 78-81
 共同体の 的代表的としての専制君主 31
 経済的 209, 405
 諸個人の意識的な 的連合関係 35
 化 人格化
 相互間の関係 80-81
 的依存関係 30
 的強制による搾取 141
 的支配・隷属関係 30, 32
 的敵対関係 31
 的自由 128
 専制君主に 的に隷属した奴隷 31
 相互に対等な 129
 奴隷所有者に 的に隷属した非 的存在としての奴隷 31
 物象的依存性のうえに築かれた

的依存性 34
 法的な 82
 余計な となった資本家 353
 領主に 的に隷属した農奴・隷農 32, 34, 224
 人格化(人格的担い手)
 貨幣の (買い手) 34, 192
 商品の (商品所持者ないし売り手) 88
 私的所有の (私的所有者) 389
 資本の (資本家) 159, 174, 176, 178, 181, 192, 199-200, 306, 307, 335, 392
 賃労働の (賃労働者) 405
 土地所有の (土地所有者) 383, 389, 391-392, 395
 物象の 47, 78-79, 81, 175-177, 182, 199, 237
 労働諸条件の(資本家および土地所有者) 406
 労働力商品の (賃労働者) 174, 176, 405
 新価値 62-64, 128, 139-140, 142, 144, 154, 256, 276, 300, 329-330, 397-401 旧価値
 新価値率 329-330
 人口 19, 20, 27, 28, 49, 168, 170, 210, 212, 216, 217, 218, 219, 220, 221, 227, 266, 334
 過剰 相対的過剰人口
 失業 49, 217 相対的過剰人口
 就業 49
 の過剰 334 相対的過剰人口
 法則 217
 相対的過剰 相対的過剰人口
 非労働力 19
 労働力 19, 20, 217
 新古典派 6, 8, 80
 新古典派総合 6, 8
 新自由主義(新保守主義)経済学 8
 死んだ労働(過去の労働) 21, 169, 189, 300, 400 生きた労働(現在の労働)
 人名
 エンゲルス (Friedrich Engels) 352
 ケインズ (John Maynard Keynes) 6, 8
 ケネー (Francois Quesnay) 6, 252
 サミュエルソン (Paul Anthony Samuelson) 8
 ジェヴォンズ (William Stanley Jevons) 7, 54
 シスモンディ (Jean Charles Leonard Simonde de

Sismondi) 7
 シーニア (Nassau William Senior) 145
 スミス (Adam Smith) 6, 40, 54, 160, 222-223, 276-278, 317, 326, 399
 フォイエルバハ (Ludwig Freuerbach) 182
 プロメテウス (Prometheus) 221
 ヘーゲル (Georg Wilhelm Friedrich Hegel) 11, 84, 179, 182
 ペティ (William Petty) 40
 ヘファイストス (Hephaestus) 221
 ホジスキンの (Thomas Hodgskin) 7
 マーシャル (Alfred Marshall) 8
 マルクス (Karl Marx) 6, 7, 40, 90, 171-173, 178, 181-182, 207, 209, 223, 223, 234, 235, 237-241, 267, 271, 278, 317, 324, 326-329, 331, 408
 マルサス (Thomas Robert Malthus) 217
 ミル (John Stuart Mill) 7
 メンガー (Carl Menger) 7, 54
 モンロー (Marilyn Monroe) 394
 ラサール (Ferdinand Lassalle) 212-213
 リカードウ (David Ricardo) 7, 40, 317, 326
 ワット (James Watt) 164
 ワルラス (Marie Esprit Leon Walras) 7, 54
 信用 107-110, 116, 119, 295, 355-357, 361-362, 363, 366-369, 373, 374, 377, 411
 貨幣 366-367
 企業間 357
 銀行 366-367
 銀行が受ける の諸形態 366-369
 商業 356-357, 361-362, 366, 374, 377
 商品 356-357, 366, 374
 貨幣 110, 357, 373
 関係 356
 システム 信用システム
 資本 363
 創造 368
 取引 107, 110, 346
 の大きさ 107
 の授受 107, 356, 357, 366-369, 372, 376
 の生成 107
 の取扱 355, 357, 361

の連鎖 108
 売買 105, 107, 108, 114, 116, 356
 長期 銀行 369
 流通する 355, 357, 374, 375
 信用システム 107, 110, 112, 295, 355-357, 361-362, 377, 411
 銀行制度
 と銀行制度 355-362
 の基礎的構成部分 (商業信用) 357, 361-362
 の自然発生的基礎 (商品信用) 356, 362
 の上層的構成部分 (銀行制度) 357-362
 の生成 356
 人類史 4, 29, 30, 48, 166, 168, 231, 242
 歴史
 の三つの発展段階: 共同体, 商品生産, アソシエーション 30
 新労働 20-21, 24, 64, 165
 旧労働
 す
 スミスの $v + m$ のドグマ 276, 399

せ
 生活
 金利 者 365
 高度な 欲求 153
 『国民 白書』 132
 資本主義的生産様式の 条件
 としての相対的過剰人口 49, 217-218
 社会的・政治的・精神的 37
 時間の労働時間への転化 221
 状態, 正常な 132
 状態, 停滞的過剰人口の 219-220
 状態, 労働者の 169, 170, 212
 状態の改善 212
 の社会的生産 29
 場面としての土地 382
 費 132, 135
 保護法 220
 様式 91
 精神 173
 物質的 37
 人間 10, 13-14, 29, 37, 41, 382
 人間 の社会形態 29-30
 賃労働者の 174, 212
 労賃によって する階級 202

労働する諸個人の 28
 生活手段 24, 128, 170, 203,
 232, 283, 334, 382
 資本家の 179, 199, 283
 追加労働者の 203
 必須 24-28, 32, 57, 132,
 135, 154-157, 174, 176, 264,
 266, 271, 399
 必要 25
 民衆からの の収奪 252
 制限
 機械使用の資本主義的 166
 期間 のある作業 159
 旧来の社会システムの 242
 個別資本の量的 375-376
 資本移動の 322, 383
 資本主義的生産の 性 242
 熟練労働者の存在による, 資本に
 よる労働の支配の 168
 手工業親方のもとでの労働者数
 の 179
 資本による生産力発展の
 240
 資本の 性 242
 資本流入の 383
 蓄積欲求による資本家の消費の
 334
 土地所有の 383-385
 物物交換の時間的・場所的
 100

分配・消費関係による商品の販売
 の 334
 利潤による資本の増殖欲求の
 215
 利潤による生産の 334
 流通時間による生産時間の
 257
 労働時間の諸 147
 労働者の消費の 334
 労働日の法的 145, 149,
 152-153, 172
 労働日の無 の延長 169
 生産 生産関係; 生産様式; 生産
 力
 再 再生産(資本の); 社
 会的再生産(資本主義社会);
 社会的再生産(社会一般)
 資本主義的 資本主義的
 生産
 社会的 社会的生産
 商品 商品生産
 価格 生産価格
 関係 生産関係
 財 生産手段
 時間(資本の) 252, 257,
 258, 263, 335
 資本 245, 249, 252, 260,
 261, 268-271, 286, 349
 者 生産者
 手段 生産手段

条件 生産条件
 的消費 10, 24, 251
 的労働 13, 15, 27, 153
 費 4, 16, 20-22, 24, 26, 56,
 59, 64, 256, 300, 396
 物 生産物
 部門 生産部門
 方法 48, 155, 158, 178,
 179
 のための 23, 250, 270
 の本源的費用 16
 用在庫 256 在庫
 様式 生産様式
 要素 245, 246, 247, 301,
 381, 396, 403
 力 生産力
 生産価格 298, 307, 308, 315,
 316-318, 321-322, 323-325,
 338, 339-341, 375, 382-384,
 385, 387
 価値と 323-325
 個別的 387
 市場 387
 商業資本にとっての と産業
 資本にとっての
 339-341
 農産物の価値と との差額と
 しての超過利潤の絶対地代へ
 の転化 382-384
 平均利潤率と 315-318

生産過程 12
 広義の 336
 資本の 47-242, 243-244,
 297, 300, 306
 再 再生産過程
 自然を科学的に制御する過程と
 しての 167
 資本が を通過する時間(生産
 時間) 252
 資本の循環における
 246-248, 250
 社会的 167, 172, 173
 社会的 のヴェールの大工業
 による引きはがし 167
 社会的 の外観上は無関係に
 骨化した諸姿態 167
 社会的 の技術と結合との発
 展 173
 社会的に制御可能な の必要
 172
 商業資本のもとでの延長された
 337
 が労働者のものとなってい
 る生産諸関係 171
 で価値量が変化する資本(可
 変資本)
 で機能する資本の諸要素の
 構成(技術的構成) 210-211
 資本構成
 で女性や年少者に割り当て

られる決定的役割 171
 で増殖すべき資本（生産資本） 246, 249
 での生産手段価値の移転・保存 62-64, 138-139, 165-166, 276-278, 300, 329
 での指揮・監督 176, 403
 での剰余労働の取得 207
 での労働者の協働としての協業 158
 での労働者の社会的結合（協業および分業） 22, 59, 192, 232
 での労働する諸個人の労働諸条件にたいするかかりとしての生産関係 175, 209, 229
 に投下される資本 337
 の外部での諸人格の相互承認としての所有関係 209
 の継続・延長としての運輸 255
 の自然発生的な姿態 171
 の資本主義的形態 172
 の中断 144
 の中断を避けるための追加貨幣資本の必要 263
 の回復 250
 に固定されている資本（固定資本） 138

による労働する諸個人の支配 81-82, 181
 の要素 13
 への自然科学の意識的な応用（機械の利用） 167, 180
 新社会の形成に必要な 物質的諸条件 172
 労働過程と 12
 労働する諸個人によって制御される 181
 生産関係 14-15, 29, 30-31, 36-37
 アソシエーション的 35-36, 233-234, 235-240
 共同体的 29, 30-31
 共同体を基礎とする 30-34
 支配的 38
 支配・隷属関係 30, 31, 32, 34
 資本主義的 34, 35, 48, 141, 158, **174-183**, 193, 209, 220, 240, 241, 350, 406
 資本主義的 と商品 176-177
 資本・賃労働関係（資本関係） 34, 35, 174, 175, 176, 177, 178, 194, 199, 203, 207, 224, 226, 227, 392, 406, 409
 従属的 38
 商品 29, 30, **34**, 35, 47,

72-83, 84-85, 141, 175-177, 182, 243, 405
 人格的依存関係 30
 人格的連合関係 35
 と階級関係 406-407
 と所有関係 34, 74, 78-80, 207-209, **209**
 と生産力 14-15, 240-241
 生産力；生産様式
 と分配関係 405-406
 のかなめ = 核心 209
 の交替 37
 の総体としての社会の経済的構造 38
 の発展と物神性の発展 353-354
 の物質的性格 36-37
 の物象化 75-79, 81, 175-177, 354-355
 人格化の歴史的諸形態 29
 を取り結ぶ同じ人々による物象の人格化としてのかかりあい 78
 奴隷制的 31-32
 物象的な依存関係 34-35, 75-78, 175-176
 封建的 32-34
 生産者 38, 52, 58, 62, 76, 81, 117, 141, 176, 222, 223, 225, 226, 232, 256, 313, 335, 379

アソシエイトした 236, 238, 379
 金 117
 私的 75
 自由で平等な 236, 237, 239
 小商品 224-225
 小 216, 223, 224
 小 の両極分解 223-224
 商品 56, 74-75, 84, 224
 自立した 222
 直接 27, 141, 231, 265
 生産手段 10, 12-13, 16, 21-35, 59, 140, 243, 332, 400
 消費手段
 共同の使用による の節約 158
 再現 24, 25, 26, 136, 264
 自己労働にもとづく の個人的所有 231-232, 234
 資本としての 174-177, 182-183
 資本の技術的構成の要因としての充用される 210-211
 資本の循環図式における の位置 246
 （生産財）市場 308
 生産部門 265, 268-272, 282-283, 331
 としての土地 380, 382,

386
 の価値移転・保存 62-64, 138-139, 165-166, 276-278, 300, 329
 の再生産 23-24, 193-194, 264
 の所有者階級 406
 の遊休 334
 追加 202
 人間にとっての費用としての 16
 労働する諸個人からの の分離 38, 80, 128, 174-175, 208-209, 222-223, 224-225, 227-228, 231-232, 350, 354
 労働する諸個人による の個人的所有の再建 233-234
 労働する諸個人の への関わり方としての生産関係 29
 労働力の再生産費を減少させる の価値減少 154-155
 生産条件 生産手段
 大工業にとっての既存の物質的としての機械体系 167
 資本条件 386, 388, 389, 390
 の改善 156
 の相違による特別剰余価値の発生 157
 の相違による資本構成の相違 315
 を改善しようとする諸資本の競争 315
 社会的に正常な 57-58, 63, 156
 社会的に平均的な 225, 311-312
 優れた と劣った 58, 156, 312-313, 386
 中位的な 312
 土地条件 381, 385-391
 不可欠の としての土地 298, 386
 有利な と不利な 226, 311, 390
 例外的でない と例外的な 388
 生産物
 形態変化された自然素材としての の 12
 国民総 400
 自然素材を変形して をもたらず具体的労働 17-18
 社会成員への社会的総 の分配の必要 28-29
 社会的 による生産手段と労働力の再生産 24-25
 社会的総 28-29, 268, 278, 399-400
 剰余 26-28, 29, 31, 34, 135-136, 141, 174, 193, 203,

224, 229, 264-266, 399
 剰余 の取得 29, 34, 141, 174
 新 24-27, 136, 264, 399
 価値 139-140, 142-146, 276-278, 302, 333, 398, 401
 価値生産物
 市場 308
 地代(物納地代) 33, 34
 先資本主義的地代の運搬と保管 254-255
 の生産費用としての旧労働と新労働 20-21
 の生産費用としての抽象的労働 20-21, 56
 の物理的移動としての物流 253
 への生産手段価値の移転・保存 62-64, 138-139, 165-166, 276-278, 300, 329
 を獲得する力としての生産力 4, 13
 をもたらず過程としての生産過程 12
 をもたらず労働としての生産的労働 13
 量に応じての賃金(出来高賃金) 186
 量の相違をもたらず具体的労働の生産力 21-22
 生産力発展の一形態としての生産物の多様化 22
 総 24-25, 27-29, 73-74, 136, 138, 142-146, 165, 202-203, 251, 265, 268, 270, 272, 276, 278, 284, 388, 399-401
 総 の再現生産手段と新生産物とへの区分 24-25
 直接的な 交換 111, 117
 土地 391
 土地 のために消費者としての社会が過多に支払う価値としての差額地代 360-361
 年間 278
 農業 (農産物) 228-229, 382-386, 388-390
 必須 24, 136, 193, 194, 264, 399 必須生活手段
 必要 と必須 24
 物象としての 76
 物的 401
 労働 の独自の社会的形態としての商品 51-52, 72-73, 354
 労働による の取得 9
 労働による の生産 9
 生産物価値 139-140, 142-146, 276-278, 302, 333, 398, 401
 を表示するさまざまな仕方

142-146
 と価値生産物 139-140,
 276-277 価値生産物
 年間総 401
 生産物地代(物納地代) 33, 34
 先資本主義的地代
 生産部門
 国民所得を生産する とその
 他の諸部門 401
 商品の価値での販売によって生
 じる 間の利潤率の相違
 315, 319
 産金部門(第 部門) 281-282
 自然発生的に分化した諸
 167
 社会的生産の2大 :生産手段
 生産部門(第 部門)と消費手
 段生産部門(第 部門) 265,
 268
 間での総剰余価値の比例配
 分的分配 324
 間の諸資本の競争によって
 生じる資本移動 316
 ごとに異なる資本構成 315
 内の諸資本の競争 157,
 333
 内の諸資本の競争による市
 場価値の成立 308-314
 内の内部補填と 間の相
 互補填 社会的再生産(資本

主義社会); 社会的再生産(社
 会一般)
 のすべてで同一の平均利潤
 率の成立 317, 321-322
 のすべてを包括する資本と
 しての産業資本 246
 の不均等な発展 292
 蓄積率上昇のための第 部門の
 先行的拡大の必要 289-290
 農業部門への資本移動の障壁と
 しての土地所有の制限 384
 農業部門への他部門からの移転
 価値としての差額地代
 389-390
 部門間比率 292, 293
 労働力の 間の移動 170
 生産方法 48, 155, 158, 178-179
 生産様式 4, 14-15, 37-38, 40
 生産関係; 生産力
 アソシエーション的 234
 アソシエイトした労働の
 236
 アソシエイトした 236
 協同組合的な 237
 資本主義的 資本主義的
 生産様式
 小経営的生産様式 38, 231-232
 の交替 4, 14-39
 の変革 155
 人間の社会的・政治的・精神的生

活を制約する 37
 封建的 230
 生産力 生産関係; 生産様式
 社会的労働の 159, 180
 社会の 14-23
 の原動力としての労働 15
 の発展 15-17, 22-24, 28,
 30, 32, 35, 38-39, 41, 172,
 223, 226, 232, 292-293, 321,
 327-333, 337
 発展のための諸方法 154
 物質的生産諸力 37
 労働の社会的 159, 180
 労働の 15, 17, 21-22, 59,
 306
 労働の の増大 154-157,
 158-159, 161, 165, 173,
 179-180, 181, 213-214, 313
 政治
 革命 38-39 革命
 権力 38, 39
 上の主義 36
 人間の 的生活 37
 法的・ 的上部構造(社会構成
 体の) 36, 37, 40 社会構
 成体
 世界貨幣 110-112, 117, 346,
 378 世界市場
 国際的購買手段 111-112
 国際的支払手段 111-112

の諸機能 111-112
 富の絶対的形態としての移転
 111-112
 世界経済論 410
 世界市場 110-112, 169, 230, 233,
 241, 308, 343, 410
 絶対的剰余価値 150
 の生産 150-151 労働
 日
 潜在的過剰人口 219 相対的過
 剰人口
 先資本主義的地代
 貨幣(金納)地代 33, 34, 224
 生産物(物納)地代 33, 34
 労働地代(賦役) 32, 33
 専制君主 31
 全体的な価値形態 68-70, 83
 価値形態
 前提 23, 34, 40, 49, 51, 65, 66,
 68, 80, 86, 108, 112, 124, 126,
 127, 145, 146, 149, 173, 177,
 180, 191, 201, 208, 209, 222,
 223, 232, 238, 241, 243, 244,
 248, 266, 272, 281, 282, 297,
 323, 331, 338, 339, 350, 403
 過程の結果が次の過程の と
 なる 191
 と結果の関係の逆転 34
 相互的 の関係 244
 無前提ではない出発 51

占有 233, 238, 353, 380, 382

そ

総過程(資本の) 244, 297

相殺(債権と債務の) 108-110, 116-117, 294, 357, 374-375

債権と債務

総収入
と純収入 398-399

増殖欲求(資本の) 212-218, 358

相対的過剰人口 216-221

極貧層 220-221

潜在的過剰人口 219

沈殿失業者層 220-221

停滞的過剰人口 219

被救済民状態 219-220

流動的過剰人口 219

ルンペン・プロレタリアート
220-221

相対的剰余価値 154, 155, 156, 158, 159, 160, 161, 163, 179, 220, 292, 308

生産の方法 158 協業;
分業;機械

の生産 154-158

疎外 48, 233, 407

された労働 181-183

の止揚 182

労働の 174, 181-183, 221, 239-240

俗流経済学 7, 54, 145

素材変換 物質代謝

租税 230, 402

存在と意識 意識

た

第 部門 社会的再生産(資本主義社会); 社会的再生産(社会一般)

大工業

技術学を創出した の原理: 生産過程のその構成諸要素への分解 161

現代の高度な生産力の具体的形態としての 240

資本主義的生産様式の発展段階としての 179

が生み出す男女差別の最終的解消のための酵素 171

が指示する生産過程を社会的に制御可能な形態に転換させる必要 172-173

が準備する新社会形成のための生産過程の物質的条件 172

が創出する家族と両性関係の高い形態のための新しい経済的基礎 171

が要求する全体的に発達した諸個人 170, 242

による資本主義的生産の変革の諸契機の成熟 170, 172, 240

による新社会の形成要素の発生と発展 170, 172, 240

の確立にともなう法外な労働時間の一般化 152, 169

の技術的基礎としての機械 163

の発展が必然的にもたらした工場法とその一般化

171-172

の二つの本質的特徴: 労働の社会化と科学的意識的な技術的应用 167, 230

のもとでの機械使用の一般化 166

のもとでの資本主義的生産過程の諸矛盾と敵対関係の発展 170, 172

のもとでの資本による労働の支配の完成 168

のもとでの男女の結合労働の, 人間的発達の源泉への転化 170

のもとでの労働する諸個人の社会的結合の変革と成熟 170, 172

のもとで不可避となる労働の転換, 労働者の可動性 170

独自に資本主義的な生産様式の特徴的な形態としての 180

マニファクチュアから への発展 163

対等

自利をめざす人々の な相互的關係の外観 141

な人格としての労働力の売り手と買い手 129

第 部門 社会的再生産(資本主義社会); 社会的再生産(社会一般)

兌換 367, 369 銀行券

兌換銀行券 110, 113, 369, 373

銀行券

建物 13, 158, 164, 261, 286, 363

他人労働 80 自己労働
の取得 199-200, 205

の物質化 196, 198-199, 200

単純協業 160, 164, 179, 180
協業

単純再生産 再生産(資本の); 社会的再生産(資本主義社会); 社会的再生産(社会一般)

単純な価値形態 64-68, 83 価値形態

単純労働

複雑労働の への還元
 60-62
 男性労働 168 児童労働；女性
 労働
 担保貸付 366 貸付

ち
 蓄積
 資本主義的 資本蓄積
 資本の 資本蓄積
 資本の本源の 222-230,
 231-232, 234
 のための 250
 蓄積ファンド 27, 104, 201-202,
 250, 265-266, 282-289, 374,
 398, 400
 の積立と投下 104, 202,
 250, 284-289, 374
 蓄蔵貨幣 102-104, 111, 118-119,
 120-121, 250, 275, 278-279,
 286-288, 378
 貨幣蓄蔵による の形成
 102-103, 104, 120
 固定資本の償却ファンドとして
 の の機能 278-279
 蓄積ファンドとしての の機
 能 250, 286-288
 と鑄貨準備 118-119
 本来の貨幣としての 103
 流通貨幣の貯水池としての

の機能 104-105, 120-121
 地代 98, 190, 229, 298, 370,
 403, 409
 貨幣（金納） 33, 34, 224
 先資本主義的地代
 差額 381, 385-391, 392
 差額 の第1形態 391
 差額 の第2形態 391
 資本主義的 380
 資本主義的 の基本形態：差額
 地代と絶対地代 381
 生産物（物納） 33, 40
 先資本主義的地代
 と利潤率 394
 と利子率 364
 の資本還元 393-394
 土地価格
 絶対 381, 382-385, 392
 独占 385
 労働（賦役） 32, 33 先
 資本主義的地代
 チャーター 129 賃貸借
 中位の活況 217, 218, 410 産
 業循環
 中央銀行 369, 372
 鑄貨 101-102, 106, 111,
 113-116, 118-119, 121, 122,
 275, 346
 準備 鑄貨準備
 の摩滅による実質金量の減

少 101
 の品位 101
 補助 102
 流通手段の機能を果たす摩滅
 101-102
 鑄貨準備
 と流通貨幣 118-119
 と蓄蔵貨幣 118-119
 抽象 18
 恐慌の 的可能性 293
 的な私的個人 7
 的な人間像としてのホモ・エ
 コノミクス 83
 的な本質から具体的な現象
 形態への展開 44
 的なものから具体的なもの
 への上り道 50
 的労働 抽象的人間的労働
 と捨象 18
 最も 的な事象としての労働
 生産物の商品形態 51
 抽象的人間的労働（抽象的労働，人
 間的労働） 17-19
 価値という物象的形態をとった
 56, 64
 具体的労働の生産力の増大によ
 る生産費用としての抽象的労働
 の減少 22, 59
 生産物の生産費用としての

20-21, 56
 一般の物質化 91
 による価値の創造 128,
 276
 の化身としての本来の貨幣
 104
 の対象化としての商品の価
 値 55, 64
 人間の労働（人間労働）と と
 の概念的区別 18-19
 人間の労働（人間労働）の一側面
 としての 18-19, 55
 超過利潤 313, 384
 市場価値法則の貫徹の結果とし
 ての 389
 他部門から流入した価値である
 390-391
 と欠損価値 386, 390
 の第1形態 384
 の第2形態 384
 をめざす部門内の諸資本の
 競争 315-316, 321
 独占地代となる 385
 土地条件の相違にもとづく
 の差額地代への転化 389
 土地所有の制限による の絶
 対地代への転化 384-385
 農産物の価値での販売による
 383
 胚芽的 226

胚芽的 226 の蓄積による富裕化
 薄利多売による商業資本の 342 の獲得
 部門内に対応する欠損価値のない 390
 部門内の剰余価値である 386-387, 389
 直接生産者 27, 141, 231, 265
 直接的交換可能性 78, 88, 91 価値体；等価物
 直接的な生産物交換 111-117 物物交換
 賃金 184
 監督 353
 時間 時間賃金
 週 131
 資本蓄積が 212-213 変動を規定する
 収入としての 397-399, 403
 生涯 133-134 体系 188-189
 上昇から利潤率低下を説明したスミスとリカードウ 326
 の後払い 189, 271
 の転倒的形態としての労賃（労働賃金） 賃賃（労働賃金）
 の本質と現象形態

184-185 変動 212, 213
 出来高 出来高賃金
 日 131
 ラサール流の「鉄則」の誤り 212-213
 労働 賃賃（労働賃金）
 賃金率
 時間 185-186
 出来高 186-187
 賃貸借 129-130
 時間極めの売買としての 129-130
 チャーター 129
 では買い手による正常な使用が前提される 149
 と貨幣貸借との区別と関連 130
 と結合した貨幣貸付の度外視の必要 130
 におけるレント（賃賃料）の決まり方 130
 リース 129
 レンタル 129
 レント 130, 131, 132, 188
 沈殿失業者層 220-221 相対的過剰人口
 賃率 賃金率
 賃労働
 資本・関係 資本関係（資

本・賃労働関係）
 階級 228, 406-407
 者 労働者
 の人格化としての賃労働者 405
 労働の社会的形態としての 160, 174, 182, 350
 賃労働者 労働者

つ
 追加貨幣資本
 の必要 263, 273
 追加資本 201-203, 205, 216, 249-251, 282, 284
 通貨 104-105, 114, 116-122, 377, 411
 預金 366, 368
 通用最高限度（補助鑄貨の） 121

て
 停滞 218, 351 産業循環
 停滞的過剰人口 219 相対的過剰人口
 手形 109-110, 356-357, 366-367, 372, 374-377
 為替 109, 357
 銀行宛ての為替手形としての小切手 357
 銀行 110, 357, 367

銀行の約束 としての銀行券 357, 367
 商業 110, 356-357
 書面での支払い約束としての 109
 それ自身は無価値という意味で 架空な証券としての 366
 貸付 366
 交換所 110
 流通 109-110, 357
 割引 366, 376-377
 約束 109, 357
 有価証券としての 366
 流通する信用としての 109-110, 374
 出来高賃金 185-187, 188, 189
 時間賃金
 率 186-187
 の具体的形態 187-188
 展開（説明） 40-42, 44-45
 価値法則と剰余価値法則からの平均利潤と生産価格の 325
 価値法則と剰余価値法則からの地代の 381
 既得の認識を基礎とした 48, 297
 経済的三位一体を完全に理解するまでの 403-404
 再生産表式の 284

現実離れの議論の 80
 資本と剰余価値との具体的諸形態の 297
 体系的な理論的 40, 41
 の上り道 45
 把握した本質・法則から諸現象をする認識としての科学 42, 44
 客観的世界の発展・開展としての 90, 181, 221, 308, 334, 406, 409, 410
 労働疎外の体系的 182
 転倒 209, 305, 353, 403 外
 観；観念；虚偽
 的な意識 77
 的な外観 409
 的な関係 306
 的な観念 160, 188-190, 306, 396, 404
 的な形態 48, 167-168, 190, 241
 的な姿 183

 と
 等価形態 67, 90 価値形態
 等価物 64-72, 83, 88-92, 378
 価値形態
 一般的 70-71, 78, 83, 88-92, 98, 253, 347-349, 354, 378
 一般的 の機能を社会的に独占する商品としての貨幣 71, 347
 個別的 64-66, 68
 の二つの特質：価値鏡と価値体 68
 特殊的 68-69, 83
 道具 13, 161, 163, 168, 259, 378
 道具機（作業機） 163-164
 機械の構成部分としての 163
 産業革命の出発点としての出現 163-164
 当座貸越 366 貸付
 同種機械の協業 164 機械
 道路 13, 159
 特殊的等価物 68-69, 83 等価物
 独占
 異常な需要による 状態 385
 一般的等価物の機能の 71, 83, 89-91, 347
 貴金属の 373-374
 銀行券発行の 367-368
 資本の独占 233
 少数の資本家による資本の 233
 生産の社会化のすべての利益をする大資本家 233

可能な生産条件としての土地条件 386-388
 地代 385
 不可能な生産条件としての資本条件 388
 特別剰余価値 156-158, 165, 308, 311, 313
 個別的価値にたいする社会的価値の超過分としての 156, 311
 を獲得しようとする個別諸資本の競争 157-158, 311
 と欠損価値 156, 311
 獲得の手段としての機械の採用 165
 の具体的形態としての超過利潤 313
 独立自営農民 223-224, 227, 231
 都市
 共同体 31
 工業 173
 での小生産者の分解 226
 の手工業 163, 230
 の手工業者 231
 の労働者 219
 土台（社会構成体の） 36 社会構成体
 土地 13, 22, 59, 382
 架空資本としての 370
 擬制価格としての 価格 370, 393-395
 銀行の固定資産としての 363
 最劣等地 381-383, 385, 388-390
 最劣等地以外の 385, 388-389, 390
 経済的三位一体の一項としての土地 地代 190, 396, 409
 生産手段としての 13
 同一面積の に必要な労働力の減少が生みだす潜在的過剰人口 219
 が生んだ果実としての地代という観念 389, 396
 価格 370, 393, 394, 395
 からの略奪 173
 管理人 229
 サービスの対価としての地代という観念 381
 市場 308-309
 収穫逓減の法則 326
 条件 381, 385-391 生産条件
 所有 土地所有
 生産物 391
 にたいする農奴のかかわり 32-33
 にたいする隷農のかかわり 32-33

の貸し手 381
 の借り手 381, 395
 の計画的利用 233
 の地理的位置 381, 386,
 391
 の賃貸契約 380
 の独占 386-388
 の豊度 22, 59, 173, 386,
 391
 への継起的な資本投下 391
 物神 396 物神
 やその他の生産手段の共同
 的占有 233
 やその他の生産手段の,共同
 的生産手段への転化 232
 やその他の生産手段の分散
 を前提する小経営的生産様式
 232
 利用の対価としての地代
 380 地代
 人間と の物質代謝を攪乱
 する資本主義的生産 173
 農業生産にとって不可欠な生産
 条件としての 298, 380
 付加価値を生む生産要素として
 の の観念 381
 本源的蓄積の基礎としての,農村
 住民からの 収奪
 227-228, 232
 無価値である未開墾の 98,

398
 労働の生産力の決定要因として
 の 22, 59
 土地所有
 近代的 380, 392
 国家による (の国有)
 392
 私的 としての,国家資本主義
 における 398
 資本主義的生産に適合した形態
 への の変形 380
 小農民的 380
 商品生産の所有法則に合致する
 380
 前近代的な の諸形態 380
 と資本 391-393
 と資本主義的生産
 380-381
 と地代 380-396
 による農業部門の参入障壁
 384
 の人格化としての土地所有
 者 383, 391, 395, 405
 の諸形態 392
 の制限 383-385
 の制限による,超過利潤の地
 代への転化 384
 の廃棄 380, 391
 封建的 380
 土地所有者 32, 298, 313,

380-396, 397, 398, 400, 402,
 403, 405, 406, 409
 階級 392, 405, 406, 409
 富 6, 9, 10, 13, 17, 23, 51, 52,
 104, 111, 127, 173, 182, 221,
 224, 225, 226, 227, 229, 373,
 395, 407
 一国の 373
 一般的形態での としての本
 来の貨幣 103-104
 経済学の出発点での社会の
 51
 国家間で の絶対的形態とし
 て移転される貨幣 111
 国 6
 社会の の物質的代表者とし
 ての 104
 先資本主義的社会における
 の増大の唯一の方法とし
 ての貨幣蓄蔵 104
 の源泉 13, 173
 の絶対的形態としての移転
 111-112 世界貨幣
 の蓄積と貧困の蓄積 221
 の物質的代表者 104
 物質的 9-10
 物質的 の源泉としての労働
 と土地 13, 173
 膨大な商品の集まりとして現わ
 れる資本主義社会の

51-52
 民 225, 226, 227
 取引
 相対 (個別) 309
 相対 と市場 との違い
 309
 市場 309
 商 109
 信用 107, 110, 346
 労働者と資本家との 149,
 195-196, 205
 奴隷 30-32, 128, 141
 原住民の 化 230
 資本主義的生産における労働す
 る諸個人の 状態 171,
 221
 所有者 31
 奴隷制 141, 231
 アジア的 31
 古代的 31, 32
 な
 中休み期間 212 産業循環
 に
 人間
 考察の出発点としての 諸個
 人 9
 自然史の過程としての 社会

の存在 9
 自由な 社会形成の諸前提と
 諸要素との発展 170-173,
 240-241
 自由な 社会としてのアソシ
 エーション 235-240
 生産関係の物象化から生じる物
 象による 支配 78
 生産関係の物象化から生じる
 による物神崇拜 77
 大工業のもとでの資本による
 支配の完成 168
 諸個人の行動が歴史を形成
 する 36
 生活の根本条件としての労働
 10, 14
 生活の本質としての実践
 14, 37
 相互の生産過程における社
 会的関係としての生産関係
 14, 29
 存在と 実践の本源的形
 態としての労働 14
 的発達の不可欠の条件とし
 ての労働 14
 的労働 抽象的労働
 的労働の直接的化身である
 貨幣による 支配 78
 特有の自然との物質代謝の
 形態としての労働 9

にとっての本源的生産費用
 としての労働 16
 による客観的諸法則の認識
 としての科学 41
 による自然過程の意識的な
 制御としての労働 12
 による自然制御の能力とし
 ての生産力 14
 の関係である生産関係の物
 象化 75-76
 の苦痛の源泉としての労働
 14, 183
 の社会的存在が の社会
 的意識を規定する 37
 の全面的解放への要求と行
 動との発展 170-173,
 241-242
 の能力である労働力の商品
 化 = 物象化 128-129, 139,
 174
 の欲求の対象であり喜びの
 源泉としての労働 14, 183
 の労働 18-19
 の労働過程を特徴づける労
 働手段の創造と使用 11
 は本源的かつ本質的に労働
 する個人である 14
 をホモ・エコノミクスと錯覚
 する幻想 81
 労働 18-19

物象の人格化による人格として
 の 相互の振る舞い
 78-80
 物神崇拜とホモ・エコノミクス幻
 想とを剥ぎとれば が見え
 てくる 81-82
 労働する諸個人の疎外された力
 である資本による 支配
 183
 労働生産物の物象的形態である
 商品による 支配 78
 労働の過程で発揮される の
 力としての労働力 11, 20
 認識
 科学的 18, 40
 既得の を基礎として行なわ
 れる展開 48, 125
 客観的諸法則の体系的 とし
 ての科学 41
 資本主義社会の外観的運動の理
 解に不可欠な、最深部の内的関
 連の 409
 された諸法則の体系として
 の理論 41, 410
 の正当性を論証するものと
 しての研究結果の叙述 44
 把握した諸法則から諸現象を展
 開する としての科学 42
 普遍的な人間的本性を する
 ために必要な諸個人の歴史的

制約性の 82

ね

熱狂的な生産の時期 169 産業
 循環
 年剰余価値率 262-263
 年剰余価値量 260-263
 年利潤率 306-307, 337

の

農業 173, 219, 226, 228, 229,
 230, 380, 381, 382, 383, 384,
 385, 386, 388, 389, 390, 392
 資本主義的 経営 380
 借地 者 226, 229, 380, 381,
 382, 383, 385, 388 農業資
 本家
 革命 226, 229
 資本家 173, 228, 229, 380
 資本家の生成 229
 半借地 者 229 メティエ
 農産物 223, 229, 382-390
 価格 382-390
 農村
 住民からの土地収奪
 227-228
 での農民層分解 226
 の家内工業 163, 229-230
 の潜在的過剰人口 219

の労働者人口 219
 副業 229-230
 民 230
 農奴 30-33, 223, 227, 229-231
 奴隸；隸農
 農奴制 30-33, 223, 227, 231
 奴隸制；隸農制
 農民 32, 223, 226-229, 231
 小農民 223-224, 229, 380
 独立自営農民 223-224, 227, 231
 農民層分解 223, 226
 農民保有地 32
 ヨーマンリ 227-228
 上り道 方法

は

廃棄
 過剰な消費手段の 291
 旧来の分業の 170
 私的土地所有の 391
 資本主義的私的所有の 238
 使用価値を失った労働手段の 278
 土地所有そのものの 380, 391
 人間と自然との対立の 240
 不要物の 11
 拝金思想 78, 354 物神崇拜
 売買

資本としての貨幣の 348-349
 時間極めの 129, 149, 188, 189, 348 貸付；賃貸借；労働力の売買
 土地の 394
 労働力の 61, 129, 139, 149, 189, 243, 276, 348
 配分 分配
 各生産部門への総需要の 319
 家族全員への家族費の 168
 銀行制度による社会的総資本の 355, 377
 生産諸部門への社会の総労働の 28-29
 総生産物への機械の総価値の 165
 道具機への動力の運動の 163
 2大生産部門への総労働と総生産手段との 265
 派生的所得 402 国民所得
 パニック 351 産業循環
 繁栄 217, 218, 351, 410 産業循環
 半借地農業者 229 メティエ
 販売 販売と購買
 販売と購買（売買）
 架空資本の 370

公的サービスの 402
 購買のない販売 117
 サービスの 402
 時間極めの 128-131
 市場 と相対 309
 資本としての貨幣の 347-348
 資本の一般的定式の段階としての 126
 社会的再生産を媒介する 273
 商品の 98-99
 信用 105
 土地の 393
 が含む恐慌の可能性 250
 を通じて利潤を取得する商業資本 337-339
 利潤は から産まれるという虚偽の観念 304-305
 流通費としての の時間 252-253, 256
 労働力の 128, 129-135
 労働の という外観 84-185, 188-189
 販売時間(資本の) 252-253, 259, 336, 337

ひ

被救済民状態 219-220 相対的過剰人口
 必須生活手段 24-28, 32, 57, 132, 135, 154-157, 174, 176, 264, 266, 271, 399 剰余生産物
 必須生産物 24, 136, 193-194, 264, 399 剰余生産物；必須生活手段
 必須労働 17, 24, 26, 27, 28, 35, 57, 135, 136, 137, 141, 142, 147, 150, 151, 153, 154, 155, 158, 195, 196, 278, 397
 剰余労働
 アソシエーションにおける 153
 支払労働としての 142
 賃労働者の収入の源泉としての 397
 必須生活手段を生産する労働としての 24-26
 と抽象的労働 17
 と プラス剰余労働との交換 195-196
 と社会的必要労働時間との弁別の必要 57
 にたいする剰余労働の比率としての剰余価値率 141
 の対象化としての労働力価値の等価 397
 の短縮による剰余労働の増大 154, 158
 の物象的形態としての労働

力の価値 135
 の特殊資本主義的形態とし
 ての労働力価値 137
 を超える労働としての剰余
 労働 26
 「必要労働」と 24
 労働生産力の上昇による の
 減少 28
 労働生産力の上昇による の
 剰余労働への転化 154-155
 労働日の最小限としての
 147
 労働日マイナス としての剰
 余労働 156
 労働力価値の低下による の
 減少 154
 労働力の再生産費としての
 135
 「必要価格」(重農学派) 317
 費用
 運輸費 256
 貨幣取扱の 374, 375
 空費 256, 257, 281, 340
 純粋な流通費 256, 340
 商業 340, 341
 商品の売買 374
 生産 4, 16, 20-22, 24, 26,
 56, 59, 64, 256, 300, 396
 流通費 243, 252-253, 256-257,
 335, 337, 344-345, 374,
 377-378
 労働力の再生産費 135
 費用価格 299-305, 317-322,
 325, 382-383, 387, 396
 販売価格マイナス として現
 われる利潤 299
 剰余価値の本質を隠蔽する
 の形態 301-303
 + 利潤 として現われる
 資本 + 剰余価値 301
 プラス平均利潤としての生
 産価格 317-318
 地代が にはいるという観念
 396
 「費用価格」(リカードウ) 317
 標準労働日 150, 152-153, 169
 労働日
 平等 80, 141, 177, 236, 237,
 239, 281, 379
 自由で な生産者たちのアソ
 シエーション 236, 239
 商品世界における 80
 な私的所有者 80
 な相互関係としての商品所
 持者間の関係 141
 な相互関係としてのホモ・エ
 コノミクスとの関係 177
 に利潤を分け合う「資本家的
 共産主義」 379
 秤量貨幣 101

日労働の価値 185, 187 労働
 力の日価値
 ふ
 ファンド 24
 固定資本の償却 (基金)
 278-280, 289, 374
 資本家の消費 201, 270
 蓄積 27, 104, 201-202,
 250, 265-266, 282-289, 374,
 398, 400
 蓄積 の積立と投下 104,
 202, 250, 284-289, 374
 保険 27, 265
 労働 24, 135, 194-195,
 397-400
 賦役(労働地代) 32, 33 先資
 本主義的地代
 付加価値 136, 137, 190, 381,
 403
 不換銀行券 113, 124 銀行券
 不況 169, 220, 410 産業循環
 複雑労働
 の単純労働への還元
 60-62
 物質代謝
 社会的 100, 110
 人間と自然とのあいだの 9,
 12, 23, 36, 172-173, 177-178,
 238
 人間的労働の 100
 人間特有の 11-12
 物質的生産諸力 37 生産力
 物象 34, 40, 47, 75-85, 135,
 141, 175-178, 182, 199, 237,
 239, 306, 353-355, 405
 生産関係の 化 75-79, 81,
 175-177, 354-355
 と物との概念的区別 76
 の人格化 47, 78-79, 81,
 175-177, 182, 199, 237 人
 格化
 物神 75-81, 240, 353-355,
 395-396
 貨幣 78, 91, 354, 396
 完成した資本 354
 資本 354, 355, 396
 商品 78, 396
 土地 396
 物神崇拜 77-78 外観; 観念;
 虚偽; 転倒
 黄金崇拜 78, 354
 拝金思想 78, 354
 物神性 物神
 の発展 353-355
 物納(生産物)地代 33, 34 先
 資本主義的地代
 物物交換 99, 100 直接的な生
 産物交換
 物流 253-256, 336, 401-402

の2契機：運輸，保管 254 220, 221
 不払労働 142, 177, 200, 203, 205, 220, 221
 300, 353 支払労働
 部分労働 161, 167, 221
 不変資本 138-140
 国民総生産物の構成部分として
 の 400-401
 固定資本として生産過程に固定
 される 260-261
 資本構成高度化に反対に作用す
 る の諸要素の低廉化
 331-333
 資本の新旧価値構成における
 329-330
 社会的再生産における両部門の
 の再生産 268-273
 社会的総生産物の価値には
 が含まれないとするスミ
 スの $v + m$ ドグマ 276-278
 蓄積のための追加
 201-202
 価値の生産物への移転 138
 不要物 11 廃棄
 プロレタリア 220, 221, 226,
 229
 プロレタリアート 220, 229
 無産のプロレタリア 226, 227,
 228
 無保護なプロレタリアート 229
 ルンペン・プロレタリアート

果 161
 マニフアクチュア的 にお
 ける資本による労働の支配
 161
 無政府的に編成されている社会
 的 98
 分配 28-30, 73-74, 137, 239,
 324, 334, 338, 340, 379, 397,
 402-406, 409 配分
 分配関係 405, 406
 と生産関係 405-406
 生産関係
 と階級関係 405 階級関
 係
 平均利潤 298, 307, 308,
 315-318, 321-322, 323-325,
 327, 339-341, 342, 345, 346,
 349-350, 351, 375-376,
 382-384, 387, 389, 397-398
 資本としての貨幣を商品にする,
 を生むという貨幣の使用
 価値 349-350
 諸資本の競争が 率と生産価
 格を成立させる過程
 318-321
 剰余価値を資本量に応じて分配
 したものである 324
 商業資本にとっての 率 341

商業資本の販売価格も を含
 む 339-340
 土地所有の制限によって絶対地
 代に転化する, を超える超
 過利潤 383-384
 費用価格プラス が生産価格
 317
 率と生産価格は価値および
 剰余価値をおおい隠す 325
 より高い利潤率を求めての諸資
 本の移動による 率と生産
 価格の成立 316-317
 平均利潤率 平均利潤
 平静状態 351 産業循環
 ベイリフ 229 土地管理人
 変形 形態変化
 返済 貸付
 法・法律 5, 6, 34, 36-37, 39-40,
 74-79, 82, 95, 102, 121, 124,
 129, 152-153, 171-172, 209,
 220, 228, 229, 367, 391-393,
 的關係 34, 79
 封建制 31, 32, 141, 223, 230
 から資本主義への移行 38,
 223, 230
 封建的土地所有 380 土地所有
 包摂 177-183, 221, 233, 238,
 306

資本のもとへの労働の形態的
178-180

資本のもとへの労働の実体的包
摂 179-181

法則 4, 37, 39, 41, 42, 73, 80,
151, 152, 179, 203, 207, 221,
266, 267, 272, 282, 314, 322,
324, 325, 326, 328, 331, 333,
381, 389, 395, 409

一物一価の 156, 225, 310

価値 323-325, 381

客観的諸 の体系的認識とし
ての科学 41

経済 82, 226, 394

再生産の 272-273

市場価値の 389

資本主義的取得の
203-209, 393

資本主義的生産（資本主義社会）
の運動 ,すなわち生成・発
展・消滅の 40-41,
231-234

資本主義的生産の生成・発展の内
的 234

資本主義的生産の内在的諸
151

資本主義的生産様式特有の人口
217

資本主義的蓄積の一般的
220-221

社会的再生産の一般的
23-29, 264-267

社会的再生産を媒介する貨幣に
ついての基本法則 273-276

社会発展の一般的 36-39

商品生産の経済 226

商品生産の所有 78-80,
203-207, 280, 391, 393, 395

剰余価値増大の 151

剰余価値 323-325, 381

土地収獲逓減の 326

認識された諸 の体系として
の理論 41
とその諸現象 41-42

ラサール流の賃金鉄則
212-213

利潤率の傾向的低下の
326-334

流通貨幣量の 114-117

方法 41, 48, 121, 171, 221, 226,
227

下り道 42, 43

研究の仕方 42-44

現象から本質へ 41-42

叙述の仕方 44-45

展開（説明） 展開（説明）

上り道 42, 43, 44, 45, 405

弁証法的方法 41 矛盾

本質から現象へ 41-42

法律 法・法律

保管 254-256, 336, 344, 401
費 256

保険ファンド 27, 265

補助鑄貨 102

ホモ・エコノミクス（経済人）
80-83
幻想 81 物象の人格化

ポリティカル・エコノミー 6, 8

本位貨幣 102, 121

本源的所得 402 国民所得

本源的蓄積（資本の） 222-230,
231-232, 234 蓄積

本質 14, 37, 41-44, 48-50, 65,
80, 82, 110, 114, 124, 134,
151, 161, 167, 182, 184-185,
187-188, 190, 192, 238, 240,
248, 261, 297, 301, 304, 322,
325, 328-347, 351, 353, 361,
372, 378, 393, 398, 404, 409
外観；現象；法則

本来の貨幣 103

本来の消費 10

ま

前貸

流通手段の 273

流通手段の と資本の投下
275

マニユファクチュア 48, 160,
161, 162, 163, 167, 168, 169,
179, 180, 229, 230 単純協
業；大工業
時代 160, 168, 229
の技術的基礎 163, 167
の二つの起源：別々の手工業
の結合，同一の手工業の分化
161-162
の二つの種類：異種
的，
有機的 161-162
マネジャー 160, 379 産業士
官
マルクス経済学 6
マルサスの人口論 217
民富 225-227

む

無産のプロレタリア 226-228
プロレタリア

矛盾 84
一般的等価物の成立による交換
過程の の媒介 88-89
客観的 と論理的 84
交換過程の ：商品の使用価値
としての実現と価値としての
条件の 85-87
交換過程の が商品世界の共
同行動を引き起こす 88-89
商品生産労働に内在する，私的労
働が社会的労働にならなけれ
ばならないという 84

商品の ,使用価値と価値との
84-85
自己自身を止揚しないではないな
いような を含んだ株式会
社 379
資本主義的生産に内在する諸
170-172, 235, 240
資本主義的生産の諸 の一時
的総合的爆発としての恐慌
334, 410
資本主義社会の諸 の露呈 7
資本の諸形態の発展は資本の自
己 を顕わにする
354-355
資本の した振る舞い 242
生産力と生産関係との によ
る社会の発展 38-39
大工業の 170
マニファクチュアの
162-163
の媒介 84
利潤率の低下と資本蓄積促進と
の 334
無担保貸付 366 貸付
無保護なプロレタリアート 229
プロレタリア

め
メティエ 229 半借地農業者

も
物
と物象 76

ゆ
有価証券 366, 371, 372
架空資本としての 371
銀行が保有する の架空性
272
銀行勘定での 366
広義の 366
有機的構成 (資本の) 210-211,
284, 290, 292, 298, 307, 315,
318, 326- 327, 328, 329-330,
331-333, 383-384 資本構成
有機的マニファクチュア
161-162 マニファクチュ
ア
遊休 217, 278-279, 286-288,
334, 346, 358-360, 364-365,
378
貨幣 263, 279, 286, 288,
346, 358, 359, 364-365, 368,
369, 374-376
貨幣資本 360, 365-366,
374-378
貨幣資本の形成 263, 273
優等地 387-390 最劣等地
有用的労働 具体的労働

有用物 18, 21

よ
容器類 13 生産手段
預金 110, 354, 357, 364-369,
372, 376, 377
定期性の預金 365, 367-368
当座性の預金 113, 357, 364,
367-369
設定での貸付 368
通貨 366, 368
の架空性 372
の支払準備 369
欲望 欲求
欲求 10, 11, 14, 22, 28, 52, 53,
56, 74, 75, 78, 86, 88, 90,
97-98, 118, 153, 183, 217,
218, 237, 239, 263, 309, 334,
359
買い手の 106
高度な生活 153
資本の増殖 212, 217
社会の総 52, 74
全面的な発展を希求する諸個人
の人的 239
不妊の貨幣を増殖させたいとい
う資本の 358-359, 375
量的制限を突破したいという個
別資本の 375-376
ヨーマンリ 227-228

ら
ラサール流の賃金鉄則 212-213
ラジカル・エコノミスト 8
ラッドライト運動 169

り
リカードウ派社会主義者 7
利子 98, 130, 190, 200, 246,
298-299, 309, 326, 346,
347-379, 394-398, 401, 403,
409
の実体としての剰余価値
350
利子生み資本 246, 298, 346,
347-379, 394, 401
成立の前提 350
における資本の物神性の完
成 353-355
の運動形態 349
の管理 346, 355, 357, 361
の管理機構としての銀行制
度 360-361
の具体的形態としての貨幣
資本 (monied capital) 347,
349, 351, 355, 372
利潤
銀行 362
産業 298, 335, 341, 349,
373

実現 319, 320, 321
 商業 298, 335, 337, 338, 341, 349, 373
 超過 超過利潤
 胚芽的超過 226
 胚芽的 225
 平均 平均利潤
 利子と企業利得とへの 割 352
 による資本の増殖欲求の制限 215
 による生産の制限 334
 利潤率 140-142, 217, 297-298, 299-300, 303-307, 315-325, 326-334, 337, 339-340, 345, 349, 363, 375, 377, 382-384, 387, 394
 年 306, 307, 337
 の極大値 330
 の均等化 317, 324, 339, 345, 349, 377, 383, 387
 の傾向的低下の法則 326-334
 利子率 98, 351-352, 370-371, 373, 394-395
 収入の源泉の による資本還元によって形成される架空資本 370
 地代の による資本還元によって形成される土地価格 394

の運動(産業循環にともなう) 351
 の最大限と最小限 351
 リース 129 賃貸借
 「理性の狡智」(ヘーゲル) 11-12
 流通
 一般 357, 367
 貨幣 100, 106, 108, 119, 125, 177, 253, 254, 270, 273, 279, 288, 293
 貨幣 の速度 116-117, 263, 377
 金属 113
 資本 251, 252, 254
 商業 357, 367
 商品 98, 99, 100, 101, 104, 105, 110, 114, 117, 122, 125, 177, 250, 254, 273, 294, 356
 手形 357
 に必要な貨幣(金)量 114, 121, 122, 123
 費 243, 252-253, 256-257, 335, 337, 344-345, 374, 377-378
 流通過程 49, 121, 191, 207, 243, 244, 246, 248, 250, 251, 252, 256, 257, 263, 268, 270, 276, 278, 281, 284, 286, 293, 295, 297, 298, 300, 305, 306, 335, 336, 337, 344, 349, 374,

397, 401 生産過程
 流通貨幣
 の貯水池 119-120
 の本源的形成 117-118
 量の法則 114-117
 流通時間(資本の) 243, 244, 252, 253, 257, 258, 259, 263, 298, 335, 374, 377, 378 生産時間
 なき流通 257, 263, 298, 374
 流通手段
 広義の 117
 蓄蔵貨幣の への転化 278-279, 286-288
 本来の 117
 としての貨幣の機能 98-100, 273-275, 378
 の蓄蔵貨幣への転化 278-279, 286-288
 の前貸と還流 273-276
 の量 114-117, 378 流通
 流動資本 139, 244, 259, 260, 261, 302, 318
 流動的過剰人口 219 相対的過剰人口
 両替業 346
 領主 32-34, 224, 228-229
 封建的土地所有者

直営地 32-33 農民保有地
 両性関係 171
 理論 6-8, 40-41, 54, 144, 183, 217, 223, 293, 328, 329, 371, 381, 394, 396, 410, 411

る

ルンペン・プロレタリアート 220-221 相対的過剰人口

れ

隷農 32-33, 227-228 奴隷; 農奴
 隷農制 32-33, 227 奴隷制; 農奴制
 歴史 3-6, 9, 14-16, 29, 36, 38-40, 49, 83, 90, 112, 149, 177-178, 180-182, 195, 223, 226-227, 230-231, 234, 239-242, 264, 267, 326, 346, 354, 373-374, 393, 406, 410
 人類史
 レンタル 129 賃貸借
 レント 130-132, 188 賃貸借

ろ

労賃(労働賃金) 48, 131, 152, 184-190, 194, 202, 210, 216,

217, 218, 229, 240, 243, 298, 301, 303, 334, 338, 345, 353, 370, 396, 397, 398, 400, 401, 402, 403, 409
 という形態 188-190
 の二つの基本形態
 185-188
 の後払い 189, 270, 288
 労働
 生きた (現在の) 21, 148, 165, 189, 195-196, 256, 278, 298, 300, 329-330, 397-398 死んだ労働(過去の労働)
 運輸 255-256
 過去の 21, 169, 189, 300, 400 生きた労働(現在の労働)
 監督 353, 403
 旧 20-21, 24-26, 64
 新労働
 具体的 具体的有用的労働
 現在の 21, 148, 165, 189, 195-196, 256, 278, 298, 300, 329-330, 397-398 過去の労働(死んだ労働)
 サービス 402
 指揮 353
 自己 自己労働

私的 34, 74-75, 80, 85, 97, 175, 176, 237, 354 社会的労働
 児童 168
 支払 142, 190 不払労働
 社会的 35, 74-75, 80, 84, 159-160, 167, 176, 180, 353 私的労働
 社会的 の生産力 159, 180 労働の社会的生産力
 熟練 168, 379
 商業 336, 340, 402
 剰余 剰余労働
 女性 152, 168, 171 男性労働
 死んだ (過去の) 21, 169, 189, 300, 400 生きた労働(現在の労働)
 新 20, 21, 24, 64, 165 旧労働
 生産的 13, 15, 27, 153, 171
 疎外された 181-183
 他人 他人労働
 単純 60-62
 男性 168 女性労働
 抽象的 抽象的人間的労働
 賃 賃労働

人間生活の根本条件としての 10, 14
 人間存在と人間実践との本源的形態としての 14
 人間的発達の不可欠の条件としての 14
 人間的 抽象的人間的労働
 人間特有の自然との物質代謝の形態としての 9
 人間による自然過程の意識的な制御としての 12
 人間の苦痛の源泉としての 14, 183
 人間の欲求の対象であり喜びの源泉としての 14, 183
 人間の 18 抽象的人間的労働
 人間 18 抽象的人間的労働
 必須 必須労働
 必要 25
 複雑 60-62
 不払 142, 177, 200, 203, 205, 207, 300, 353 支払労働
 部分 161, 167, 221
 有用的 具体的有用的労働
 力能の高い 60

時間 労働時間
 需要と 力需要 216
 諸条件 生産条件
 生産性 15 生産力
 賃金 労賃(労働賃金)
 と所有との分離 207, 354
 と所有との関係の逆転 209
 と 力 19, 128, 135-136
 の価格 184, 301, 303
 の価値 48, 132-137, 139-140, 141-142, 142-144, 148-149, 150, 154-157, 166, 168, 174, 184-185, 188-190, 194-196, 202, 210-211, 217, 243, 259, 329-330, 332, 397, 403
 の凝結 55
 の強度 57, 58, 59, 150, 154, 169, 187, 312 労働の熟練度
 の結果の二面性 56, 63
 労働の二重性
 の結晶 55, 80, 90
 の社会的生産力 159, 180-181, 221 社会的労働の生産力
 の熟練度 59, 60, 169, 187
 労働の強度
 の生産力(生産性) 15, 22,

154, 155, 292, 321, 383 社
 会の生産力
 の疎外 182, 183
 の対象化 55-56, 57, 59,
 62, 64, 85, 95, 110, 122, 128,
 136-137, 140, 142, 150, 154,
 156, 165, 189, 194-196,
 205-207, 256, 300, 311, 329,
 336, 390, 397-399, 400,
 402-403
 の二重性 4, 16-19, 55-56,
 63-64, 276-278 具体的労
 働; 抽象的労働; 労働の結果の
 二重性
 の物質化 104, 198, 381
 ファンド 24, 135,
 194-195, 397-400
 分配率 137
 労働価値説 6, 7, 9, 54, 190
 労働過程 11-13, 139, 155, 161,
 167, 168, 170, 171, 177-179,
 180, 182, 192, 221, 233, 240,
 352
 の要素 12-13
 労働時間
 社会的必要 社会的必要
 労働時間
 剰余 剰余労働
 必須 必須労働
 労働市場 48, 128, 129, 151, 174,
 185, 202, 204, 207, 215, 216,
 218, 227, 240, 308, 309
 労働者
 売り手としての 334
 買い手としての 334
 過剰な 産業予備軍; 相対
 的過剰人口
 監督 160, 353
 結合された 176, 181
 現役 215, 219, 221
 高級 353
 工業 219, 226
 サービス 402
 商業 336
 女性 152, 171, 219
 全面的に発達した 153
 総 149, 161
 男性 168
 追加 203, 216, 400
 都市 219
 肉体 161
 二重の意味で自由な 128
 農業 226, 380, 390
 農村 219
 パート 219
 非 141, 174, 406
 部分 167
 階級 49, 149, 194-197,
 205, 405-406
 と資本家との取引

148-150, 184-185, 195-196
 の消費 251, 295
 労働手段 11-13, 62, 163, 165,
 167, 168, 169, 233, 260-261,
 278-279, 302
 労働する個人 14, 26, 28-31,
 34-36, 38, 48, 49, 59, 73, 74, 80,
 81, 131, 132, 141, 153, 159, 161,
 168, 170, 172, 174-178, 180,
 181, 183, 194, 199, 207, 208,
 209, 222, 223, 227, 231-233,
 238, 239, 241, 242, 325, 354,
 392, 393, 397, 399, 405-410
 賃労働者; 労働者
 社会形成の主体としての
 35, 207-208, 325, 408
 社会変革の主体としての
 208, 242, 408
 本質的に である人間個人
 14
 が自然をも自己をも意識的
 に制御する活動としての労働
 183
 からの労働諸条件の収奪
 222-230
 と労働諸条件との結合状態
 49
 と労働諸条件との分離状態
 49, 174
 による自由な諸個人として

の労働諸条件へのかかわりと
 しての個人的所有 233
 の私的個人としての労働諸
 条件へのかかわりとしての私
 的所有 231
 の資本主義的所有を生みだ
 す生産におけるかかわり
 207-208
 の類的能力の発揮 159
 の労働諸条件へのかかわり
 としての生産関係 29, 175
 の労働諸条件への疎遠なか
 かわり 175
 労働対象 11, 12, 13, 62, 163,
 168, 258, 259, 261, 302
 生産手段; 労働手段
 労働地代 32, 33 先資本主義的
 地代
 労働賃金 賃金; 労賃(労働賃金)
 労働日 28, 131, 147
 アソシエーションにおける
 35
 1 が生みだす価値量と労働
 力の日価値との差額としての
 剰余価値 135-136
 可変量である 147
 自由拡大の条件としての の
 短縮 28
 大工業のもとでの の延長
 168-169

8時間 147, 153
 標準 150, 152, 153, 169
 標準の確立 152-153
 法律によるの強制的な延長
 229
 の延長 147, 150-151,
 151-152, 154, 168-169, 216
 の限界 147, 149
 の最小限 147
 の最大限 148
 の諸制限 147
 の短縮 28, 35, 169
 をめぐる労資間の闘争
 148-150, 151-153
 労働力の時間極めの売買の単位
 としての 132-133
 労働ファンド 24, 135, 194-195,
 397-400
 労働用具 13, 232 生産手段 ;
 労働手段
 労働力 4, 11, 17-19, 19-20, 21,
 23-24, 26, 35, 47, 48, 58,
 60-62, 74, 127-137, 139-144,
 148-157, 159, 166, 168-171,
 174-178, 184-185
 非人口 19-20
 人口 19-20, 217
 の価格 184, 301, 303
 の価値 48, 132, 135-137,
 141-142, 144, 150, 154,
 156-157, 166, 168, 174,
 184-188, 202, 210-211, 217,
 243, 259, 301, 329-330, 397,
 403 労働力の使用価値
 の再生産費 132, 134-135,
 148, 154, 202, 216
 の搾取度としての剰余価値
 率 140-142
 の需給を規定する諸要因
 215-216
 の使用価値 127-128,
 135-137 労働力の価値
 の消費 128, 149, 177, 178
 の商品化 139, 240
 の総価値 労働力の総価
 値
 の売買 労働力の売買
 の日価値 労働力の日価
 値
 の人格化としての賃労働者
 176
 労働力の総価値 132, 133, 134,
 148 労働力の日価値
 労働力の売買 61, 129, 139, 149,
 189, 243, 276, 348
 労働力の日価値 132, 133, 134,
 135, 136, 137, 140, 142, 148,
 185, 186, 187 日労働の価
 値 ; 労働力の総価値